



国際ロータリー第2650地区
社会奉仕委員会
2025-26 年度事業報告集

国際ロータリー第2650地区
2025-26 年度
社会奉仕委員会

ご挨拶

このたび、2025-26年度 国際ロータリー第2650地区社会奉仕委員会において、地区内クラブの皆さまが一年間にわたり取り組まれた社会奉仕事業を、一冊の報告集としてまとめることができました。この中、事業報告書をご提出いただきました各クラブの社会奉仕委員長をはじめ、会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

本年度、当地区は少子化対策のもと「未来へのつながり」を基本方針に掲げ、それぞれのクラブが地域の課題に真摯に向き合いながら、多様な社会奉仕活動を実践されました。社会奉仕とは、目の前の課題を解決するだけでなく、人とのつながりを育み、地域に希望をもたらし、その想いを次の世代へ受け継いでいく活動でもあります。私たちロータリアンが積み重ねてきた奉仕の精神は、多くの人々との出会いを通して地域社会に根付き、未来へとつながっていく大きな力になると確信しております。

本報告集には、地域福祉、環境保全、防災支援、文化・伝統の継承、青少年育成、など、多岐にわたる活動が収録されています。それぞれの事業には、地域を思う温かい心と、会員の皆さまの行動力、そしてクラブの創意工夫が込められており、一つひとつが未来への架け橋となる素晴らしい実践であると感じています。

この報告集が、各クラブの今後の奉仕活動の参考となるとともに、新たな発想やクラブ間の交流を生み、さらなる社会奉仕の発展へとつながることを願っております。

結びに、この一年間、地域社会のために情熱を持って活動が続けてこられた各クラブの皆さまに深く敬意を表しますとともに、ご協力いただきましたすべての会員の皆さまに心より感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2650地区

2025-26年度 社会奉仕委員会

諮問委員 バスターハニー	佐竹 力樹 (京都RC)		
委員長	宮内 清幸 (五條RC)		
副委員長	岡本 孝和 (京都洛西RC)	副委員長	小牧 靖彦 (京丹後RC)
委員	佐井 弘美 (近江八幡RC)	委員	市原 洋靖 (宇治RC)
委員	木村 元 (長浜東RC)	委員	松村 美貴 (福井三ノ宮RC)
委員	大島 潤裕 (奈良RC)	委員	寺本 光宏 (福井RC)
委員	八木 悠祐 (京都北RC)	委員	山崎 功昭 (京都西RC)

目次

【京都府】

嵯峨ロケットクラブ	1
嵯峨山ロータリークラブ	3
嵯峨山南ロータリークラブ	なし
亀岡ロータリークラブ	4
和泉中央ロケットクラブ	5
余科港ロケットクラブ	6
余部ロケットクラブ	7
京都伏見ロータリークラブ	9
京都平安ロータリークラブ	10
京都東ロータリークラブ	11
京都東山のロータリークラブ	12
京都北東ロータリークラブ	13
西郡インテグロケットクラブ	14
京都葛城ロケットクラブ	15
京都桂川ロケットクラブ	16
京都北山ロケットクラブ	17
京都南ロータリークラブ	18
大和エニシングロータリークラブ	20
京都河野ロータリークラブ	21
京都中ロータリークラブ	24
京都西ロータリークラブ	25
余部八幡ロータリークラブ	なし
余部港中ロータリークラブ	26
余部北山ロータリークラブ	27
京都洛南ロータリークラブ	33
京都洛西ロータリークラブ	34
京都洛東ロータリークラブ	35
京都嵯峨野ロータリークラブ	なし
京都さくらロータリークラブ	36
京都西北ロータリークラブ	38
京都西谷ロケットクラブ	41
京都富田ロケットクラブ	43
京都洛南ロータリークラブ	44
京都新田ロータリークラブ	46
京都山城ロータリークラブ	47
余部八幡ロータリークラブ	48
嵯峨ロータリークラブ	49
嵯峨東ロータリークラブ	50
宮津ロータリークラブ	なし
園部ロータリークラブ	53

【福井県】

福井ロケットクラブ	57
福井北山ロケットクラブ	58
福井フェニックスロータリークラブ	59
福井東ロータリークラブ	60
福井北ロータリークラブ	61
福井南ロータリークラブ	63
福井西ロータリークラブ	67
福井水戸ロータリークラブ	68
津山ロータリークラブ	69
丸岡ロケットクラブ	70
二宮ロケットクラブ	71
大野ロケットクラブ	72
鯖江ロータリークラブ	73
武生ロータリークラブ	74
鯖江南ロータリークラブ	77
敦賀ロータリークラブ	78
敦賀西ロータリークラブ	83
若狭ロータリークラブ	87

【滋賀県】

びわ湖八幡ロータリークラブ	89
五ヶ所尾崎ロケットクラブ	90
栗田江ロータリークラブ	92
彦根ロータリークラブ	93
彦根南ロータリークラブ	94
甲賀ロータリークラブ	95
湖南ロケットクラブ	96
草津ロケットクラブ	97
守山ロータリークラブ	98
長浜ロータリークラブ	なし
長浜東ロータリークラブ	100
長浜北ロータリークラブ	101
近江八幡ロータリークラブ	102
大津ロケットクラブ	103
大津中央ロータリークラブ	104
大津東ロータリークラブ	105

大津西ロケットクラブ	106
栗東ロータリークラブ	107
島本ロータリークラブ	108
野洲ロータリークラブ	109
八日市南ロケットクラブ	111

【奈良県】

あびこロータリークラブ	114
五條ロータリークラブ	115
平城島ロータリークラブ	なし
橿原ロータリークラブ	116
奈良ロータリークラブ	117
奈良中央ロータリークラブ	120
奈良東ロケットクラブ	121
奈良西ロケットクラブ	122
奈良大宮ロケットクラブ	123
桜井ロータリークラブ	124
大和郡山ロータリークラブ	126
やまと平塚らびロータリークラブ	128
やまと西郷ロータリークラブ	127
大和島田ロータリークラブ	129

【Eクラブ】

日本ロータリークラブ2630	なし
----------------	----

報告者	役 職	社会奉仕委員会 委員長
氏 名	仲江文男	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	第14回由良川タリオン大作戦		
実施日	令和8年5月9日（土曜日）	1.継続事業の場合	通年 年
実施場所	綾部市味方町綾部大橋河川敷交通公園含む		
協力団体	綾部高校分析科学部が主催に例会として参加（以前はロータリー独自で清掃作業後譲る）		
参加人数	会員 18 名	会員参加率 66 %	
	市民 332 名		
	その他 市内、市外含め、32団体 350人以上参加		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	綾部市を流れる大切な由良川の清掃により環境保全に努める。 流域の企業、学校、住民と共に美化活動に取り組む。		
事業結果	例年日曜日開催でしたが、主催者の都合により土曜日に変更に成りましたが、当日、32団体350人以上の（市外の学生含め）参加者がありました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	57,000	円	
事業執行額	36,000	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員会 委員長
氏 名	仲江文男	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	綾部市災害基金積み立て事業				
実施日	令和7年7月1日～令和9年6月		継続事業の場合	3	年
実施場所	例会日				
協力団体					
参加人数	会員	27	名	→ 会員参加率	100 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	綾部市内で災害が起きた場合に、共助として後方支援する。災害一回に付30万円限度に後方支援する事業。3年間に100万円の災害基金積立事業です。 会員一人 年12,000円積み立てて、3年で約100万円予定。				
事業結果	令和7年7月1日開始から令和8年6月5日現在、247,000円。				
新聞、TV等での報道	令和7年度はしていません。2年目の8年度は、綾部市民新聞に災害基金の積み立てをしていることの、広報を致します。				
事業予算	300,000		円		
事業執行額	6月現在進行中		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☒ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		大山義道
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	親子きずな応援プロジェクト in 福知山2025				
実施日	2025年11月24日		継続事業の場合		年
実施場所	京都大呂ガーデンテラス（京都府福知山市大呂）				
協力団体	福知山市母子寡婦福祉会				
参加人数	会員	14	名	→ 会員参加率	31.8 %
	市民	70	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	事業目的：ひとり親家庭の親の孤立感が軽減されるとともに、外出や肉類を摂取する機会が少ない親子に対し、心のケアにもつながり、親子の絆を深めることが期待される。また、本取組は福知山市母子寡婦福祉会の会長からも高く評価されており、同会にとっても、継続的な支援活動を行う上での大きな励みとなる。 事業内容：①グラウンドゴルフ、②バーベキュー、③将棋等の各種ゲーム（使用したゲーム等は福知山市母子寡婦福祉会へ寄贈）、④マジックショー、⑤〇×ゲーム（賞品として食材や生活必需品を提供）				
事業結果	今回の事業に先立ち、当クラブ例会において福知山市母子寡婦福祉会の代表に卓話をしていただき、会員がひとり親家庭の現状を知り、理解を深める機会となった。また、事業終了後の反省会には参加者の一部の方にもご参加いただき、その後、母子寡婦福祉会からお話を伺う中で、今回の事業により親子のきずなだけでなく、親同士や子ども同士の交流も深まり、距離が縮まったとの声をいただいた。さらに、寄贈したゲーム等はその後の活動でも継続的に活用されており、今回の事業は母子寡婦福祉会の今後の活動の参考になったとのこと言葉をいただくなど、高い評価をいただいた。  				
新聞、TV等での報道	 				
	地方紙（ラサンカ・朝日新聞・京都新聞・丹波日日新聞）				
事業予算	409,843 円				
事業執行額	411,967 円				
この事業の主な財源 （複数回答可）	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		灰木勝治
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	視覚障害者に対する理解と盲導犬の役割				
実施日	令和7年 10月5日		継続事業の場合 年		
実施場所	ギャラリーかめおか2階 桜の間・つつじの間				
協力団体	亀岡市視覚障害者協会・公益財団法人 関西盲導犬協会				
参加人数	会員	18 名	→ 会員参加率	58 %	
	市民	153 名			
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	亀岡市内小学生3年生から6年生までを対象に、視覚障害とはどのようなものかをわかりやすく伝えるとともに、視覚障害者の生活を支える「盲導犬」の役割について学ぶ体験型プログラム				
事業結果	障害者への理解と配慮の心が生まれた 誰もが安心して暮らせる社会のために自分にできることを考える機会となった 児童の道徳性や社会性の発達に寄与できた				
新聞、TV等での報道	・京都新聞社丹波版 ・地元ケーブルテレビ (ZTV) によるテレビ放映				
					
事業予算	511,392		円		
事業執行額	511,392		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		六嶋洋道
担当委員会名	奉仕プロジェクト	

事業名	2025年青葉学園交流事業		
実施日	2025年12月7日	継続事業の場合	4 年
実施場所	亀岡アルプラザボウリング/菜根寺(中華料理)		
協力団体	チーム亀岡中央		
参加人数	会員 10 名	会員参加率 77 %	
	市民 38 名		
	その他 チーム亀岡中央 4名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	青葉学園の子供達とボウリング・食事を通じて、子供達と地域社会とのつながりを一緒に楽しむ		
事業結果	多くの子供達、職員の皆様とボウリング・食事・プロのマジシャンのマジックショーを通じて交流を深める事が出来ました。 所在地域の青葉学園様との絆、社会奉仕、青少年奉仕を目的に未来につながる持続可能な事業として引き続き継続してまいります。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	310,000	円	
事業執行額	304,970	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 山本 裕恵
担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	おはなしフェスティバル		
実施日	2026年5月23日	継続事業の場合	4年
実施場所	たちばな会館		
協力団体	みかんの木文庫		
参加人数	会員 19 名	会員参加率	73 %
	市民 108 名		
	その他 子供56名 大人52名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

読み聞かせグループ“みかんの木文庫”の皆様へ大型紙芝居と人形劇を熱演して頂きます。ストーリーは大変わかりやすく、ユーモアと楽しさ、感激、社会での道徳心の育成、そして皆様が明日に向かう勇気も頂けるものであると確信しております。小さなお子様からお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんまで喜んで見て頂ける事業です。



事業結果

本年度は、おかしな詰め合わせを子供たちに無料でプレゼントを行いました。当日は天候にも恵まれ来場者数も多く、たくさんの子供たちの笑顔が見れました。



新聞

事業予算	269,000 円
事業執行額	265,610 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他

報告者	役 職	社会奉仕委員会委員長
氏 名		佐々木 正子
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕委員会クラブフォーラム 「保護司の経験を通して学んだこと ― 具体的な事例を通して考える」		
実施日	2025年10月22日(水)	継続事業の場合	毎年度 年
実施場所	ホテルオークラ京都		
協力団体			
参加人数	会員 39 名	→ 会員参加率 19 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都府では地域社会を健全で豊かなものにするため、地域現状に対しての幅広い情報収集と理解を深める活動を継続しており、その一環としてクラブフォーラムでの講演が行われている。昨年度、青少年の非行の実態について警察のご担当者より実態と最近の傾向をお聞きする機会があったので、社会の陰の部分の問題点と解決策をより深く理解するために、今年度は犯罪に手を染めた人々の更生を図る活動を長年してこられた梶村健二先生に「保護司」活動の現状のお話を伺い、質疑応答を通して社会の抱える諸問題を明確化し理解を深める機会を設けた。		
事業結果	参加者は39人。 「保護司」は無給で、元犯罪者の更生をサポートするために、元犯罪者側の社会生活を考えて目立たないように活動する必要がある。そのために社会にその活動があまり知られていないのが現状である。大津での保護司殺害事件のように、命がけの部分もある大変ハードな奉仕活動である。我々の日常では知り得ない、問題を抱えた人々の生活環境や現状を知ることや、またそれらの人々をどのようにサポートしたら犯罪率が低下していくのか、長年の経験談を交えた講演をお聞きして、様々な知識を広め、考える機会となった。 犯罪者は改心しても刑務所にいる間に社会は変化し、仕事につけないなど更生するにも壁があり、周りからのサポートが必要な部分がある。 こうした現実を知るとともに、元犯罪者が立ち直るために周りの社会に求められているサポートを理解し、社会全体をより健全なものにするために必要な「奉仕の精神」を学ばせて頂いた点でも成果は大きかった。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	120,000 円		
事業執行額	118,883 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員会委員長
氏 名		佐々木正子
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	スペシャルオリンピックス日本・京都鴨川チャリティートーチウォーク				
実施日	2026年5月17日（日）	継続事業の場合	約20	年	
実施場所	府立植物園北門前～鴨川河川敷～御池中学校				
協力団体	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都				
参加人数	会員	15	名	→ 会員参加率	約8 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都RCでは皆が平等で豊かな、より良い地域社会の実現に寄与することを目的として、継続してスペシャルオリンピックス日本・京都のトーチウォークに参加している。知的障害のあるアスリート達を励まし交流することを通じ、それぞれの持つ力を育み、よりよい社会性が身につくことを願い、広く地域社会にアスリート達への理解、協力を呼びかける活動を目標としている。このチャリティートーチウォークは、スペシャルオリンピックス日本の認知度アップと、知的障害のある方々の活動支援を目的とし、トーチを持ったアスリートたちと参加者が一緒に鴨川を歩く事業。				
事業結果	京都府立植物園北門前で千容子会長のご挨拶、アスリートの開会宣言後、2本のトーチが点火され出発。 アスリートの方々や今主旨に賛同の各団体の皆様とともに鴨川の両岸に分かれ、約6km先のゴール、御池中学校までのコースを皆で歩くことを通じ、交流を図り、沿道の人にも本活動の目指す目的への関心と理解を持ってもらうことを目的としている。 雲一つない真夏を思わせるような晴天の下、途中地点で各団体も続々合流し、最終的には総勢約200名で臨瀬とゴールを目指した。 中野バスターガバナーにもご参加いただき、閉会式では千容子会長よりアスリートへの激励の言葉が寄せられた。開催間近の種目の選手たちの紹介もあり、参加者全員から激励のエールを送り、閉会となった。 天候に左右される活動であるが、継続することで社会の理解が進み、スポーツを通じて知的障害のある方々の社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」に、一層の関心が高まる事を願う。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0	円			
事業執行額	0	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☒ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		植本宏志
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	みんな集まれ！真竹祭り		
実施日	2025年9月30日	1.継続事業の場合	年
実施場所	京都市立真竹総合支援学校		
協力団体			
参加人数	会員	41 名	—— 会員参加率 45.56% %
	生徒	名	
	その他	京都市立真竹総合支援学校 生徒及び教職員	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	一方的に支援するのではなく、求められている事をよく聞き、可能な限り支援する。児童と関わる奉仕事業とし、会員本人に奉仕に対する意識付けを目指します。 大型プールやマット、削減センサーなどの教育の過程で必要で、且つ長く使えるものを寄贈します。寄贈品を使い児童と一緒に活動する事によってコミュニケーションを図りながら関係性の向上も同時に目指します。		
事業結果	会員の半分参加頂き、児童と様々な形で関わる事が出来ました。また地域に呼びかけ着ぐるみをお借りし、祭りに参加してもらったことで児童も大いに喜んでくれました。今回の事業をきっかけにより地域との関係性強化に結び付ける事が出来ました。   		
新聞、TV等での報道	京都新聞社に来て頂き、当日の様子を10/9の朝刊で取り上げてもらう事が出来ました。		
事業予算	750,000	円	
事業執行額	651,094	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 幹事

氏 名 坂口 明子

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	京都平安ロータリークラブ 障害者スポーツ体験会		
実施日	2025年9月14日（日）	継続事業の場合	3 年
実施場所	京都市障がい者スポーツセンター		
協力団体	京都府フロアバレーボール協会		
参加人数	会員 15 名	会員参加率 83 %	
	市民 30 名		
	その他 府外より40名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者スポーツ体験会を開催し、フロアバレーボールなどの競技を実際に体験していただきました。日頃は障がいのある方と接する機会が少なく、「どう関わればよいのか」と不安を感じる方も多い中、スポーツを通じて自然に交流できる貴重な場となりました。まだ認知度の高い分野とは言えませんが、この体験をきっかけに障がい者スポーツの魅力を知り、理解を深めていただくことを目的として本事業を実施しています。		
事業結果	今回の「障がい者スポーツ体験会」では、フロアバレーボールを体験していただきました。実際にプレーしてみると、選手の皆さんの熱気と迫力は「障がい」という言葉を忘れるほどで、その競技性の高さに多くの参加者が驚かれていました。 この体験を通じて、競技の大変さや面白さを知っていただく良いきっかけになったと感じています。障がい者スポーツの一つとしてフロアバレーボールがより広く周知されるよう、今後も本事業を継続してまいります。 また今年は、京都のフロアバレーボールチームの皆様へユニホームを寄贈し、活動を応援する取り組みも行いました。今後は、より多くの地域の方々に参加いただけるよう、事業の充実に努めてまいります。		
			
事業予算	400,000	円	
事業執行額	601,574	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		宮本 順三
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	京都東ロータリークラブ創立70周年記念事業「公開文化塾～プロフェッショナルがいざなう伝統文化～」		
実施日	2026年 2/22 3/16 4/11 3回開催	継続事業の場合	年
実施場所	表千家北山会館/京都観世会館		
協力団体	表千家北山会館		
参加人数	会員 100 名	→ 会員参加率 約 30 %	
	市民 579 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都東RC地区に本拠を置く世界的な伝統文化（能楽、食と酒、茶の湯と工芸）を支えているプロフェッショナル技能者（能楽師、酒・食の生産者、家元、千家十職など）に語ってもらい、その真髄に触れてもらう機会を若者や市民に提供する。参加した市民が、京都の伝統文化を奥深い魅力を肌で感じるとともに、知識化して広く伝えてゆく礎となる。また外部から参加した人も、京都らしさを成り立たせている伝統文化とそれを支える技能者を知る機会となる。 第1回演題「京の食文化とそれを支える水」第2回演題「茶の湯の道具 使う人 作る人」第3回 能「鞍馬天狗」公演～片山九郎右衛門がいざなう能の世界～ 3回開催		
事業結果	京都東RCの地区のみならず、広く京都市民に現代に生きる伝統文化の受け継がれてきた「心」「技」、その背後にある深い底流をなす経験や技能、感性から得られる暗黙知を垣間見ることによって、情報化社会では得にくい体験ができ、特に若い世代に素晴らしい体験機会を提供するが事できた。京都の伝統文化の表層は、メディアに載って世界中に広がっているが、その一方で、本当に文化を支える日本人は細る一方であり、日本人といえどもそれほど本物に触れる機会は多くない。このような機会をできるだけ設けることにより、継承者を社会に広く知ってもらい市民全体で文化を支援できることへの一助になった。 広く発信してゆくことにより、次世代への継承発展に寄与できた。		
			
事業予算	3,406,335 円		
事業執行額	3,406,335 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	奉仕プロジェクト医院長
氏 名	郡 正樹	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	【やましな！こども発見隊！】わたしが魅（み）つけたよ！やましなのステキ！				
実施日	2026年4月9日		「継続事業の場合」		年
実施場所	京都市山科区東部文化会館				
協力団体	京都市教育委員会、山科区役所、山科はぐくみネットワーク				
参加人数	会員	30	名	→ 会員参加率	50 9%
	市民	85	名		
	その他	5名			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	1.【やましな発見！はぐくみカルタ】山科区制50周年記念事業はぐくみネットワーク実行委員会の制作したカルタを使用する。小学生にカルタを通して楽しみながら歴史を学び、カルタ体験をしてもらう。 2.【がま口財布作り】京都の伝統的な生地を使用し【ものづくり】の大切さを理解してもらう。 3.【フォトコンテスト結果発表】募集したフォトコンテストの結果発表と作品の展示あるいは放映。最優秀賞、優秀賞、佳作他各賞の発表と受賞作品を含めた作品を公開する。 以上3点を柱にして1日で実施する事業とする。				
事業結果	【山科区制50周年記念事業の冠事業としての取組】 京都市東部文化会館で実施し、山科13学区の小学校より約50名の参加、保護者、関係者含め総勢100名で実施した。本事業では、山科区の歴史や文化、ものづくりの魅力を子どもたちに楽しく体験してもらうことができた。カルタ体験では、参加した子どもたちが積極的に札を取り合い、楽しみながら地域の歴史を学ぶ姿が見られた。また、がま口財布作りでは、京都の伝統文化に触れながら、ものづくりの楽しさや大切さを実感してもらう機会となった。 フォトコンテスト結果発表では、多くの作品が展示され、参加者や保護者からも好評を得ることができた。会場全体が終始和やかな雰囲気になり、参加者同士の交流も深まる有意義な事業となった。 当日は大きな事故やトラブルもなく、関係者・参加者の協力のもと円滑に運営することができた。子どもたちの笑顔が多く見られ、地域の魅力再発見につながる貴重な機会となったため、今後も継続的な地域交流事業として発展させていきたい。				
新聞、TV等での報道	新聞 山科市民新聞3月号掲載 広報紙 京都市広報紙 わくわくの扉2月号掲載				
事業予算	1,300,000		円		
事業執行額	1,312,781		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	委員長
氏 名	吉田昌司	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	宝ヶ池公園 桜植樹プロジェクトVol.				
実施日	2026年3月29日	1.継続事業の場合	3	年	
実施場所	宝ヶ池公園及びザ・プリンス京都宝ヶ池				
協力団体	北山街協同組合、京都市左京区土木みどり事務所				
参加人数	会員	10	名	→ 会員参加率	59 %
	市民	94	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	2023年度に宝ヶ池の森散策道に案内看板を設置、2024年度に宝ヶ池公園内に案内板設置、菰蒲園看板整備事業（地区補助金不申請）を行ってきました。その第三段として桜の植樹を行うことになりました。 樹木の植樹は、二酸化炭素の吸収量増加や土壌浸食の防止、水源の保護といった環境保全に寄与します。きれいな空気や土壌、水資源を維持することは地域住民の健康と生活基盤を支えることにつながるため、人々の暮らしを守る人道的な行為といえます。桜の景観が整備されることで、地域に人が集まりやすくなり、観光などの経済的な効果も生まれます。さらに、桜を中心として、互いの結びつきやコミュニケーションが活発になり、地域コミュニティの強化につながります。				
事業結果	桜の植樹で公園の環境保全に貢献できました。お茶会を開催してたくさんの方にお花とお茶を楽しんでいただきました。宝ヶ池公園を中心としての新しい地域のコミュニティーが生まれ地域発展に貢献できました。   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	¥45,170	円			
事業執行額	¥45,170	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	委員長
氏 名		中野 祐樹
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト委員長

事業名	暮らしランプ支援プロジェクト		
実施日	2025年9月11日(木)	1 継続事業の場合	年
実施場所	暮らしランプ「こきゅう+」		
協力団体			
参加人数	会員	6 名	→ 会員参加率 %
	市民	25 名	
	その他		
事業分野	☒ 1. 人間尊重 ☒ 2. 地域発展 ☐ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		

事業目的及び事業内容

「こきゅう+」では障がい者がカフェ業務やアート・デザイン制作など就労を通して一人一人が自分たちの意思に合わせた役割を持ち、作業に取り組んでいます。今まで手作業で行っていたコーヒー粉の計量を自動計量器を導入することによって作業効率が上がり、障がい者のモチベーション向上につながります。ワークショップにおいて、暮らしランプの焙煎士や障害があるメンバーとともに複数の豆を試飲・比較しながら、ロータリアンと協力してブレンドを決定しオリジナルブレンドとして販売した。

事業結果

当日はコーヒー粉自動計量器の贈呈式後、ワークショップを開催し、ロータリアンと障がい者メンバーとともにオリジナルブレンドコーヒーを作りました。「地域とつながる活動」として多くの方に認知され、共に未来をつくるきっかけになったと実感しています。

新聞



事業予算	198,170	円
事業執行額	198,170	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 石田勝也

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	寄贈モノメント等の掃除		
実施日	2026年5月30日	継続事業の場合	年
実施場所	城陽市役所前、文化パルク城陽他		
協力団体	なし		
参加人数	会員 16名	→ 会員参加率	57%
	市民 名		
	その他 1名 (会員家族)		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☐ 2. 地域発展 ☒ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	京都市陽RCが過去に社会奉仕事業として市役所前等の公共施設にモノメント等の寄贈を行った。それらが経年により汚れたりしていたので、寄贈物の周辺を含め清掃を行った。 また、京都市陽RCは創立56年を迎えるが、過去に行った社会奉仕事業を知らない会員も増えており、併せて当クラブの歴史を知る機会とした。		
事業結果	周辺を含めモノメントを掃除することできれいになった。それ以上に、半数以上の会員が参加し、会員歴の長い会員から寄贈した経緯や裏話なども聞き、クラブを理解するよい機会となった。		
新聞、TV等での報道	2026年6月6日、地元紙「洛タイ新報」に掲載された。 		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	山本 拓生	
担当委員会名	社会奉仕委員長	

事業名	京都桂川ロータリークラブ杯バラスポーツ（ボッチャ）大会		
実施日	2025年11月29日（土）	1. 継続事業の場合	4 年
実施場所	京都市立西総合支援学校 体育館		
協力団体	西京社会福祉協議会、障害者スポーツ振興会		
参加人数	会員 10 名	会員参加率 25.6 %	
	市民 60 名		
	その他		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☒ 2. 地域発展 ☐ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	バラスポーツである「ボッチャ」は年齢や性別、障がいの程度に制限されずに誰でも参加して楽しみ競い合うことが出来るスポーツであります。地域ではまだ未知のスポーツであるので認知に努め、障がい団体や支援学校に多くの参加を呼びかけ啓蒙・普及に寄与し、参加者の交流、親睦を深める。		
事業結果	今回4回目になる大会ですが、西京社会福祉協議会と京都障害者スポーツ振興会の協力のもと、8箇所の障害福祉施設より10チームの、手話通訳、付き添いの家族を含め約80名程の参加で開催されました。 11月下旬ともなると、体育館の中は冷えます。参加者の健康状態など気になりましたが、皆さん元気に動き、笑い、大いに盛り上がりました。ボッチャというスポーツは、初めて体験される方が多く、ルールの説明の後にすぐにゲームが開始されるのですが、不思議と盛り上がります。各コートで歓声が上がり、皆さん時間と共に競技に熱が入り楽しんでいただけたかと思います。閉会式では、優勝チームと準優勝チームをはじめ、参加者全員に障害施設が生産しているクッキーなどを副賞や参加賞として贈呈しました。回を重ねるごとに反省点や改善点も出てきており、協力団体や参加者も年々熱心になっており、やりがいを感じる大会へと育ってきたように思います。		
			
事業予算	431,758	円	
事業執行額	414,086	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長

氏 名 角田龍平

担当委員会名 社会奉仕、職業奉仕、
青少年奉仕委員会

事業名	子ども塾2025 絶滅危惧種の動物を知ろう～飼育員さんのお仕事も学んじよう～				
実施日	2025年10月23日		継続事業の場合		年
実施場所	京都市動物園				
協力団体	京都市、京都新聞、KBS京都テレビ				
参加人数	会員	23	名	→ 会員参加率	38 %
	市民	109	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	参加した子どもたちに絶滅危惧種の動物及び飼育員の仕事の内容を知ってもらい、地域社会において大人と子どもが地球環境保護及び動物園の役割の重要性について認識を共有することを事業目的としました。 事業内容は、4班に分かれた子どもたちが、園内に設けた10か所のチェックポイントを回り、会員から10種の絶滅危惧種に関するレクチャーを受け、クイズに答えてスタンプを集めるスタンプラリーを行うと共に、動物園のバックヤードで飼育員から仕事の内容を学びました。				
事業結果	子どもたちにとって「絶滅危惧種を知る」という切り口で動物を観察するという体験は新鮮だったようで、会員による各動物の説明に熱心に耳を傾けていました。また、普段観ることのできない動物園のバックヤードで飼育員から仕事の内容を学び、知的好奇心を刺激されて目を輝かせる子どもたちの姿が印象的でした。				
新聞、TV等での報道	イベント当日のKBS京都テレビのニュースと翌朝の京都新聞朝刊でイベントの様子が報じられました。				
事業予算	1,018,882	円			
事業執行額	1,018,882	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				



報告者	役 職	委員長
氏 名	川崎 照晃	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	付き添い入院家族支援		
実施日	2025年7月～2026年6月	↑継続事業の場合	2 年
実施場所	京都府立医科大学 小児医療センター		
協力団体	認定NPO法人キープ・スマイリング		
参加人数	会員 60 名	会員参加率	25.6 %
	市民 6 名		
	その他 延べ参加人数：会員 76名、青森RC 4名、小田原RC 3名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

京都府立医科大学の小児医療センターで長期入院中の患児に24時間付き添うご家族へ、京都南RC会員企業が提供する美味しくて、栄養バランスのとれた、季節を感じられるお弁当とお菓子をお届けするとともに、共同事業として青森RC・小田原RC両姉妹クラブから特産のお菓子を提供いただきお届けした。また、病棟内でミニコンサートを開催し、入院中の親子が少しでも笑顔に、そして元気になっていただけるようご奉仕させていただいた。

事業結果

【ミールサポート】

京都府立医科大学小児医療センターで長期入院中の患児に付き添うご家族へ、飲食関連の会員企業ご提供のお弁当とお菓子と姉妹クラブ提供のお菓子を7月から6月まで毎月1回、合計12回お届け。ご家族から沢山の感謝と心温まるメッセージをいただきました。

【初夏の癒しコンサート】

患児とご家族に、心の癒しを感じていただければと、演奏に「Le Collage」の皆様をお迎えし、優しい音色で心温まる演奏と、楽しいプログラムを披露していただきました。



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	1,500,000	円
事業執行額	1,464,503	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名	川崎照寛	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	『まあいいかCafe』		
実施日	2025年11月30日(日)、2026年3月8日(日) ↑継続事業の場合 2 年		
実施場所	ムッシュいとう『SALA LUCE』		
協力団体	まあいいかlaboきょうと		
参加人数	会員	40 名	→ 会員参加率 15.5 %
	市民	145 名	
	その他 会員家族等10名、ローターアクト会員10名、認知症当事者キャスト15名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

『まあいいかCafe』とは、認知症の人がホールスタッフを務める注文を間違えても、誰も腹を立てたり、不快に思ったりすることなく、その場にいる皆が笑顔で楽しい気分になれる、とても素敵なレストランです。認知症の方に、働くことや人の役に立つことの喜びを、来店者には間違えることを受容する寛容の心の大切さを味わっていただきます。京都南ローターアクトクラブとの共同事業として実施しました。

事業結果

まあいいかlaboきょうと様との共催で、認知症の方がホールスタッフを務める『まあいいかCafe』を2回にわたり開催しました。京都南ローターアクトクラブ会員の協力もあり、認知症の方が生き生きと働かれる姿や、その様子を温かいまなざしと笑顔で見守る来場者や支援ボランティアの皆様が生み出す、とても素敵な空間と時間を楽しむことができた事業でした。



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	300,000	円
事業執行額	251,900	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		前田純一
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	就労支援所 たんぽぽハウスへの支援		
実施日	2025年11月27日	継続事業の場合	25 年
実施場所	たんぽぽハウス事務所		
協力団体	無し		
参加人数	会員 4 名	会員参加率 11 %	
	市民 0 名		
	その他 たんぽぽハウス関係者 10名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	長年継続して支援している就労支援所・たんぽぽハウスに対して、今年度も内容を協議の上、伊根方面にスタッフが小旅行する費用の一部補助を行った。		
事業結果	たんぽぽハウスのスタッフが小旅行に出かける事により、ハウス内のコミュニケーション向上とともに、明日からの作業への活力向上への一助になったと確信する。		
新聞、TV等での報道	特になし		
事業予算	150,000	円	
事業執行額	150,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	幹事
氏 名		岸田 徹
担 当 委 員 会 名	社会奉仕	

事業名	時を経たラジオ塔を未来へつなぐ事業		
実施日	2025年10月19日他	1.継続事業の場合	年
実施場所	京都市北区 船岡山公園		
協力団体	京都市、船岡山公園オープンパークFUNAGOKU ラジオ体操クラブ 紫野高校吹奏楽部		
参加人数	会員 35 名	→ 会員参加率 83 %	
	市民 300 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市北区にある史跡「船岡山公園」の石造りのラジオ塔は、ラジオ放送普及のため全国に設置されたもののひとつであり、昭和10年から、戦前、戦後と時代を超え多くの情報を地域住民に伝えてきた。ラジオ放送という主要な役割を終えた後も、地域のラジオ体操クラブによって毎朝のラジオ放送が流されるなどそれなりに利用されてはいたが、傾き、長年の垢を纏い古びた史跡のような様相となっていたところである。ここで、2025年がラジオ放送開始より100年の記念すべき年であることをきっかけとして再整備し、地域の交流や日常的な活動のシンボルとして再生すべく行われた事業である。 ラジオ塔の傾きの修正と、傍のベンチやモダンな意匠の欄干、噴水周りも含め全面的に洗浄を施し、みちがえる美しさを取り戻しました。去る10月19日には、市長ほか地域の皆さまにご参加いただき除幕式を行いました。地元紫野高校ブラスバンド部の演奏が華を添えていただき大変良い式典とすることができました。 京都紫野は、ラジオ塔が末末まで、地域の活動のシンボルとなることを願っています。		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道	後日京都新聞において記事として掲載された。		
事業予算	2,270,000	円	
事業執行額	2,267,997	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕理事

氏 名 福田幸治

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	令和8年第61回京親協はたちを祝うつどい 協賛及びクラブ員参加		
実施日	2026年1月12日	1.継続事業の場合	44 年
実施場所	京都テルサ		
協力団体	京都市、京都障害児者親の会協議会		
参加人数	会員 20 名	会員参加率 62 %	
	市民 100 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者の方々への20歳を祝う特別な機会「第60回京親協はたちを祝うつどい」に奉仕することにより、はたちを迎えられたご本人たちを祝い、ご家族、ご支援されている皆様が感謝を感じられる場を一緒につくる。その事によりインクルーシブな社会実現に貢献する。 事業内容 ①お祝いの品の用意 ②クラブ会長からのお祝いの品贈呈、祝辞 ③クラブ員参加によりお祝いをし、お祝いの品贈呈準備、贈呈サポートを行う		
事業結果	はたちを迎えた13名（保護者等付添人25名）のお祝いを多くの参加者とともにいった。出席できなかったはたちを迎えた方5名と合わせ18名にお祝い記念品を贈呈。当日出席された方々には、ひとりずつ手渡しにて贈呈するとともにお祝いの言葉を伝えた。 主催者の京親協はたちを祝うつどい実行委員会から、「本人が温かい励ましや祝福を受けることにより、多くの方々の見守りや支えがあることを認識されるとともに、社会人として新たな心構えを持つ機会となった」と事業成果報告頂いた。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	103,000	円	
事業執行額	102,740	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役	職	幹事
氏	名		岸田 徹
担	当	委	員
会	名		社会奉仕

事業名	賀茂曲木宴の支援		
実施日	2026年4月12日	1 継続事業の場合	33 年
実施場所	賀茂別雷神社 渉沢園		
協力団体	賀茂別雷神社、賀茂曲木宴保存会		
参加人数	会員	10 名	→ 会員参加率 23.8 %
	市民	300 名	
	その他		
事業分野	☒ 1. 人間尊重 ☐ 2. 地域発展 ☐ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☒ 5. その他		

事業目的及び事業内容

古来中国から渡ってきたという貴族の遊びが由来とされている。賀茂別雷神社でも古くから行われてきたものであったが、33年前に京都紫野ロータリークラブの支援などで復活し、毎年継続して開催されている文化的催しである。雅楽の奏でられる中、斎王代の陪覧のもと当代一流の歌人により和歌が詠まれ、冷泉家時雨亭文庫により披露される。京都紫野ロータリークラブは、開催のためのご奉仕と、社会奉仕理事が奉行後見として参列、会員は観覧席よりそれを見届けるものである。

事業結果

今年度は33回目の協力となり、晴天のもと滞りなく催された。一般の観覧は今年度も立ち見の出るほどであった。



新聞、TV等での報道

翌日の京都新聞にて内容が掲載された。

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職

氏 名 清吉美穂

担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	認知症の人と家族の会主催「家族が学ぶ認知症のこと」連続講座参加者への支援		
実施日	2025年9月5日、9月22日、10月7日、 11月10日、12月9日、1月19日、2月9日 それぞれ、13:00-15:00	！継続事業の場合	1 年
実施場所	佛教大学二条キャンパス		
協力団体	認知症の人と家族の会		
参加人数	会員 1 名 → 会員参加率 0.03 96 市民 述べ140 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	2025年には65歳以上人口のうち5人に1人が認知症になるという推計値がでており認知症はもはや他人ごとではない。いつ、当事者となるかわからない認知症について、自分ごと、家族のこととして捉え、認知症についての正しい知識を知る人を増やす活動を京都中ロータリーとして支援する事はとても意義のある事である。認知症の人と家族の会が主催する連続講座に参加する人達への支援をする事で、我々会員も認知症に関心を持ち、認知症の人でも安心して暮らせる社会づくりに貢献できると考える。 具体的には、認知症の人と家族の会の会員さんと連続講座参加者へのドリンク提供支援を行うことで京都中ロータリーが心を寄せて支援し我々ロータリアンが認知症を理解しサポートする意思を伝える。		
事業結果	述べ140名程度の参加者に、京都中ロータリークラブのタグをつけたドリンク支援を行う事で、京都中ロータリーが支援しているという意思を伝える事ができた。認知症の方を介護される家族は日々心身共に負担が大きい、このような会で学びあい、話をしあうことで心理的負担を軽減させることができる。話し合いの際に、提供したドリンクがうれしかったとお声を沢山いただいた。また、ロータリークラブがこれからも支援をしてくださるという事への感謝の思いも沢山伺う事ができた。  		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	23,500	円	
事業執行額	8,527	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 委員長

氏 名 武田 敬也

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	『嵐山プロギング』		
実施日	2025年11月30日	継続事業の場合	4 年
実施場所	嵐山から松尾大社間の桂川河川敷		
協力団体	一般社団法人プロギングジャパン		
参加人数	会員	30 名	→ 会員参加率 31 %
	市民	25 名	
	その他	20 名	京都外国語大学・京都西ローターアクトクラブ
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	嵐山地域の自然環境保全を目的とした清掃活動を、単なるゴミ拾いではなく「プロギング」という新しいスタイルで実施することにより、参加者の健康増進とコミュニケーションの促進を図り、地域住民や観光客に環境保全への関心を高める機会とする。 また、京都西ロータリーと提唱ローターアクトクラブとの共同事業として連携を深め、世代を超えた相互理解を深め、次世代育成と地域貢献を同時に進める。 主催：京都西ロータリークラブ 共催：京都外国語大学ローターアクトクラブ、京都西ローターアクトクラブ		
事業結果	本活動は今年度で4年目の開催となる継続事業であり、観光地域である嵐山～松尾大社周辺において実施した。 地域住民や若い世代との交流の場となり、京都西ロータリークラブおよび提唱ローターアクトクラブの認知向上と連携強化が図られた。 異なる世代がともに汗を流すことで、相互理解の促進、次世代育成、地域貢献が同時に実現する機会となった。 当日は嵐山「中の島公園」において、待機メンバーでポリオ撲滅募金活動を行った。 (募金活動総額 58,547円)		
新聞、TV等での報道	当日の活動が2025年12月1日の京都新聞朝刊に掲載された。		
事業予算	600,000	円	
事業執行額	508,534	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		櫻井 啓孝
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト

事業名	私が知らない私に会いに行こう ～能登半島地震『心の復興』支援プロジェクト～		
実施日	2025年10月25日（土）～26日（日）	↑ 継続事業の場合	年
実施場所	龍谷大学 大宮キャンパス、開法会館		
協力団体	七尾RC、龍学園IAC(石川県)、龍谷大学付属平安高等学校IAC、京都府立高校の教諭・生徒		
参加人数	会員	32 名	→ 会員参加率 43 %
	市民	37 名	
	その他	IAC39名、RAC8名	合計116名
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

能登半島地震で被災した高校生（龍学園高校IAC・提唱クラブ七尾RC）を京都市へ招待し、京都の高校生と共に学び、本事業プログラムを通じて、再び前を向いて生きる力を取り戻すこと（心の復興支援）及び未来を担う高校生が将来に希望と自信を持つことを目的とする。

第1部：植松努氏 講演会「どうせ無理」から「こうしてみたら？」考える自己開発。

第2部：自分を知り、社会を知り、自立する 私の『わくわくエンジン』発見プログラム



事業結果

被災地である石川県七尾市の龍学園高校IAC生徒8名を京都に招き、龍谷大学付属平安高校IAC、京都府立・市立高校の在校生、保護者、教職員、当クラブ会員等、約100名が参加した。

初日は植松努氏による講演「思うは招く」を開催し、夢に挑戦する姿勢の大切さを学び、その後、「わくわくエンジン発見プログラム」やモデル大会を通じ、世代・地域を超えた交流を深めました。

2日目は避難所運営ゲーム（HUG）を実施し、災害時の協力と判断力の重要性を体験的に学びました。この事業を通じて、高校生一人ひとりが自分のこれからを考え、夢や目標に向かって踏み出すきっかけになったのではないかと思います。



事業予算	3,044,380	円
事業執行額	2,944,971	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 委員長

氏 名 杉山 俊定

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	京都学生祭典への協賛				
実施日	2025年10月2日(木)		継続事業の場合	4	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	64	名	→ 会員参加率	92.25 %
	市民	2	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	2003年から毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて繰り広げられ、来場者数が10万人を超える京都市の文化の中心地 岡崎地域で行われる一大イベント。京都市の人口の1割を学生が占める学生のまち・京都ならではの大学生だからできる、学生プロデュースのお祭りである京都学生祭典に協賛金を贈呈した。				
事業結果	2025年10月12日(日)平安神宮前 岡崎プロムナード一帯で開催され、多くの参加者・来場者があった。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	委員長
氏 名	杉山 俊定	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	社会福祉法人京都いのちの電話へ寄付金贈呈		
実施日	2026年2月26日(木)	1. 継続事業の場合	4 年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場		
協力団体			
参加人数	会員 59 名	→ 会員参加率	86.76 %
	市民 5 名		
	その他		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☐ 2. 地域発展 ☐ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☒ 5. その他		
事業目的及び事業内容	「24時間 眠らぬダイヤル」自殺予防を目的として生まれた運動を、年中無休・24時間体制で、年間約18,000件受けている相談員の一助となるべく、資金ボランティアとして寄付を行った。		
事業結果	例会に、京都いのちの電話の事務局長にご出席いただき、例会出席者に「いのちの電話」活動への話をいただき、寄付を行った。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 委員長

氏 名 杉山 俊定

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	2026年カレンダー寄贈		
実施日	2025年末～2026年始	1 継続事業の場合	5 年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場		
協力団体			
参加人数	会員 名	→ 会員参加率	%
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	介護老人施設の市原寮に入居されている高齢者が、きれいなカレンダーとともに2026年をすごしていただけるよう、会員よりカレンダーの寄贈をいただいた。		
事業結果	市原寮より 入居者のカレンダー購入の経済負担がなくなり、きれいな紙面のカレンダーで部屋が明るくなったと御礼の連絡があった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	杉山 俊定	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	岡崎わいわい文化祭に事業費贈呈				
実施日	2026年1月15日	1 継続事業の場合	14	年	
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	59	名	→ 会員参加率	88.00 %
	市民	2	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都市の岡崎学区には、動物園、美術館、コンサートホールのある岡崎公園、平安神宮、琵琶湖疎水、別荘・別邸群とそれに付随する庭園があり、京都の文化施設が集中している。そのような地域の住民の方の歌や踊りなどの発表の場である「岡崎わいわい文化祭」に協力し、地域発展に寄与。またロータリークラブ会員の出演や資金援助で、ロータリークラブをより身近なものとして、岡崎学区の方に知っていただく。				
事業結果	岡崎わいわい文化祭に関わったすべての参加者・来場者に、京都洛北ロータリークラブの事が周知できた。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	委員長
氏 名	杉山 俊定	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	公益財団法人松ヶ崎立正会へ援助金贈呈		
実施日	2026年5月21日	1.継続事業の場合	3 年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場		
協力団体			
参加人数	会員 64 名	—— 会員参加率	95.52 %
	市民 2 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都の夏の風物詩で、伝統ある民俗行事である京都五山の送り火の一つの「妙法」は、創立時のテリトリーである松ヶ崎で行われている行事である。 当クラブのチャーターメンバーであった深見会員が住職をつとめておられたお寺は、松ヶ崎妙法送り火の起原として登場する涌泉寺であったので、1974年より、19年間、「クラブ名入りタオル」を送り火催行前に贈呈していた。長らくこの様な縁は途絶えていたが、創立時のテリトリー松ヶ崎の伝統の一助となり、ご縁が復活できればと考え、贈呈することとなった。		
事業結果	チャーターメンバーで、2代目会長であった岩崎会員のご子息が当クラブに入会され、現在公益財団法人松ヶ崎立正会（妙法送り火保存会）の理事長を務めておられる。 伝統ある妙法送り火の保存活動には数々の問題があり（例えば、送り火点火のアカマツ割り木の確保、山の整備など）、寄付金を活用して保存活動に努めていただけた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 幹事

氏 名 杉山俊定

担当委員会名 社会奉仕委員長

事業名	こども写真ワークショップ（及び野外展示）				
実施日	①2025年3月1日、②2025年4月28日～5月6日		継続事業の場合		年
実施場所	①賀茂別當神社（上賀茂神社）、②京都府立植物園内手木神社境内				
協力団体					
参加人数	会員	38	名	会員参加率	52 %
	市民	3307	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	ユネスコの世界文化遺産に登録されている上賀茂神社を地元とする子供達に誇りや教養につながるワークショップを開催し、世界を舞台に活動するプロフェッショナルな写真家の技術指導をいただきながら、今は利用者が少なくなっている一眼レフカメラでの撮影で、携帯カメラでは得られない体験をしてもらい子供達のアートへの関心を引き出す。				
事業結果	子どもたちが地域の自然や文化に触れながら、自らの感性で「見る・感じる・表現する」体験を得る機会となりました。 参加した小学生や保護者からは多くの感謝の声が寄せられ、親子のコミュニケーション促進や、子どもの自己肯定感・創造性向上にもつながったものと考えています。また、展示会では、フリースクールに通う子どもたちが熱心に作品を鑑賞する姿が見られたほか、来場者から「地域にとって意義のある活動との評価をいただきました。」 本事業を通じて、子どもたちの感性を育む文化芸術活動への地域理解が深まり、多世代が交流する機会の創出にもつながった。				
新聞、TV等での報道					
京都新聞掲載 KBS京都 ニュースで報道					
事業予算	1,384,993		円		
事業執行額	1,674,426		円		
この事業の主な財源 （複数回答可）	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	委員長
氏 名	北山 隆	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	『第2回京都洛南ロータリーカップ〜かるた大会』		
実施日	2026年2月21日（土）9：20～15：00	継続事業の場合	年
実施場所	京都市伏見区総合庁舎 4F大会議室		
協力団体			
参加人数	会員	20 名	→ 会員参加率 76.92 %
	市民	210 名	
	その他	小学生、留学生、学生・地域ボランティア、一般市民、米山奨学生、かるた大会事務局	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目的：地域の小学生を対象に地元伏見区の名所旧跡をもとに作成された「伏見〜るかるた」を使用して大会を開催する。小学生から大人の方までどなたにも伏見区の名所旧跡を知ってもらうことにより、歴史の深い町、伏見に対する愛着を育んで頂きます。 事業内容：伏見の名所・旧跡が描かれたかるたを使って、かるたを1枚でも多くとった人が勝ちになります。2名ずつ対戦。10枚取ったら、組み合わせをして10回繰り返し、100点満点で競います。また5回繰り返したら、かるたを並び替えて再度対戦をする。飽きないように工夫している。団体戦と個人戦がある。準決勝〜決勝まで行う。大判かるたも別途行っている。		
事業結果	今回は2回目の開催であるが、昨年よりも多く126名もの参加があった。決勝まではお昼ご飯を挟んで長時間に及んだ。大会は大盛況であり、大成功でした。小学生低学年から学校や家庭以外の場合に参加する事でマナーや協調性も育んでいただけたかと思えます。また地域住民の方にはロータリーの活動を認知してもらうことで将来のロータリアンを育成できる糧になったのではないかと思います。学生や地域のボランティアの方にも楽しんで参加頂き、地域住民との交流の場として提供出来た事嬉しく思います。    		
新聞、TV等での報道	NHK京都放送局から小学2年生の少女に寄稿取材をして頂きましたが、その子がたまたま決勝まで残ってしまった為、本来はもっとロータリー活動も取材頂くところが、時間的に我々は殆どテレビには映らなくなってしまい残念ではありましたが、2月25日のNHK京都放送局の6時のニュースに放映された。		
事業予算	864,840 円		
事業執行額	880,554 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	理事 社会奉仕委員長
氏 名		大島 嘉人
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	小倉山特別地区・竹穂垣補修改善事業		
実施日	2025年9月20日	継続事業の場合	27 年
実施場所	嵐山（小倉山景観保全地区）竹の小径		
協力団体	京都洛西RAC、嵯峨中学校、右京区役所、大河内山荘		
参加人数	会員 20 名	会員参加率 40 %	
	市民 名		
	その他 京都洛西RAC5名、嵯峨中学校教員生徒10名、右京区役所職員2名、会員家族2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	右京区嵯峨野の竹林の風景は世界に誇れるすばらしい資産であり、その景色を護る活動として、また竹林を護る事により生じるであろう様々な効果（竹藪の治安維持やロータリークラブの公共イメージの向上、クラブ会員同士の親睦など）も期待し、クラブ会員と協力団体が力をあわせ、毎年竹穂垣の補修改善作業や竹林内の倒竹、枯竹の清掃を実施しています。		
事業結果	今年は嵯峨中学校のバレーボール部の生徒さんや顧問の教員にご協力をいただきました。午前9時に集合して作業を始めましたが、既に多くの外国人観光客が訪れており、事故が起こらないように注意しながら竹穂垣の補修改善を行いました。古い竹穂を奥に押しやり手前に出来た空間に新しい竹穂を足していきます。古い竹穂はいずれ朽ち果て竹藪に還ります。そのような自然の循環を利用した知恵に関心しながら作業を行いました。参加いただいた皆さんは熱心に作業をされており、奉仕事業への思いが伝わってきました。作業後は大河内山荘さまのご厚意で、庭園の見学とお茶を頂戴し、参加者の皆様は達成感に浸りながら疲れを癒しました。		
新聞、TV等での報道	9月22日の京都新聞朝刊（京都市地域）に記事が掲載されました。		
事業予算	290,000	円	
事業執行額	269,358	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者 役 職 理事

氏 名 吉田直史

担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	ありがとうロータリー未来へすべてに感謝 ～SDGsをスポーツを通して学び、衛生を保つ地域の地産地消～		
	2025年10月19日(日)	継続事業の場合	年
実施場所	麻ボウル上賀茂、賀茂川上流周辺		
協力団体	ワイレールフットボールクラブ、鴨川を美しくする会、平安養育院、放課後クラブ251他		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率	%
	市民 50 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	賀茂川上流周辺を清掃しながら歩き水域環境を学習した後、スポーツを通じてコミュニケーションの大切さ、BBQで食育を学び、日本の未来を担う子供達へ自然豊かで美しい京都を守って貰う事の大切さを学んでもらい同時に笑顔になってもらう事業。		
事業結果	参加者すべてが真剣なまなざしで学びコミュニケーションスポーツでは清々しい汗をかきBBQで食をまんだ笑顔が共有できる事業でした。今年度会長テーマのごとく【ありがとうロータリー】でした。  		
事業予算	735,190	円	
事業執行額	583,703	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 幹事

氏 名 中西良和

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	嵐山国有林除伐活動				
実施日	2025年10月18日	1.継続事業の場合	3	年	
実施場所	嵐山国有林				
協力団体	京都市産業観光局 森林振興林業振興課				
参加人数	会員	14	名	→ 会員参加率	39 %
	市民	0	名		
	その他 会員家族 (2名)				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	国有林を健全な未来に引き継ぐ為の森林整備、地域の環境保全を目的として実施いたしました。事前の打ち合わせにより対象場所を決定し、当日はあらかじめテープで目印がされていない樹木を刈り取る作業をしました。 傾斜地など危険を伴う場所もありましたが参加会員で約2時間の作業を実施し、終了のちには綺麗に整備された風景をみて達成感を感じました。				
事業結果					
新聞、TV等での報道					
事業予算	30,000	円			
事業執行額	30,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 幹事

氏 名 中西良和

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	子供達と楽しむ演奏会&楽器演奏体験				
実施日	2026年5月10日		1.継続事業の場合		年
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都				
協力団体	京都市子ども若者はぐみ局子ども若者未来部				
参加人数	会員	33	名	→ 会員参加率	94 %
	市民	179	名		
	その他 会員家族・事務局・来山奨学生（1名）・京都市職員（1名）				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	プロ音楽家によるオペラコンサートの鑑賞して頂き生の音楽に触れて頂きます。また弦楽器体験では弦楽四重奏をお聞きいただいた後、プロの音楽演奏家立ち合いの下バイオリン等楽器に触れた演奏体験をして頂きました。 音楽鑑賞や楽器演奏体験をしていただくことで興味を持っていただくこと、楽器演奏を通じて楽しさや難しさを身近に感じていただき新たな可能性の入り口になることを目標に企画しました。				
事業結果	演奏会は観望さん、お子さんで179名の参加、楽器体験のお子様は3歳から18歳までを対象に定員いっぱいの60名が参加   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	892,370		円		
事業執行額	892,370		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		小藤田 純
担 当 委 員 会 名		社会奉仕

事業名	管弦と舞楽へようこそ遠近な雅楽の世界へ 新たな魅力発見のひと時をご一緒に～				
実施日	2025年11月29日		継続事業の場合		年
実施場所	ホテルオークラ京都				
協力団体					
参加人数	会員	13	名	→ 会員参加率	50.09 %
	市民	70	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	本事業は、日本の伝統文化である雅楽の魅力を地域社会に伝え、次世代への文化継承のきっかけをつくることを目的として実施しました。 当日は、弥栄会による雅楽の演奏および舞楽を行い、あわせて雅楽の歴史、楽器、装束についての紹介や体験の時間を設けた。来場者が鑑賞するだけでなく、雅楽を身近に感じられる内容としたことで、伝統文化への理解と関心を深める機会となりました。				
事業結果	本事業には83名の方にご参加いただき、69名の方からアンケート回答をいただきました。雅楽を初めて鑑賞された方も20名おられ、普段なかなか触れる機会の少ない雅楽を身近に感じていただく機会となりました。また、全体評価では「とてもよかった」が53名、「よかった」が13名となり、参加者の皆さまから高い評価をいただくことができました。今回の事業を通じて、雅楽の魅力を伝えるとともに、日本の伝統文化への関心を深めていただく有意義な機会となりました。				
					
新聞、TV等での報道					
事業予算	892,700		円		
事業執行額	800,785		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		小藤田 純
担 当 委 員 会 名		社会奉仕

事業名	嵐山の清流を守る会 河川清掃活動及び大堰川幼魚放流				
実施日	2025年9月7日 - 2025年11月12日		継続事業の場合	38	年
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿い				
協力団体	京都西南RC・桂川RC・嵯峨野RC、ライオンズクラブ、銀行、近隣幼稚園、嵐山保勝会他				
参加人数	会員	4	名	→ 会員参加率	9.09 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	本事業は、長年におたり地域で親しまれている渡月橋上流一帯の大堰川・桂川の清流を守り、自然環境の保全と地域美化への意識を高めることを目的として実施しました。 当日は、大堰川・桂川沿いの清掃活動を行いました。また、地域の自然環境を守る取り組みとして、魚の放流も実施し、子どもたちや地域の方々に環境保全の大切さを感じていただく機会となりました。				
事業結果	本事業では、渡月橋上流一帯の大堰川・桂川沿いにおいて清掃活動を行い、河川周辺の美化に貢献することができました。 また、魚の放流を通じて、地域の子もたちや参加者に自然環境への関心を持っていただく機会となりました。複数の団体が協力して取り組むことで、地域全体で清流を守る意識を共有することができ、事業としての意義を改めて確認することができました。				
  					
新聞、TV等での報道					
事業予算	20,000		円		
事業執行額	20,000		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		小藤田 純
担 当 委 員 会 名		社会奉仕

事業名	京都西北ロータリー文庫寄贈				
実施日	2026年3月11日	継続事業の場合	16	年	
実施場所	京都市立嵯峨小学校				
協力団体					
参加人数	会員	2	名	→ 会員参加率	9.09 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	本事業は、地域の子どもの読書環境を充実させ、豊かな心を育む一助となることを目的として実施しました。 京都市立嵯峨小学校へ文庫を寄贈し、児童が多くの本に親しみ、学びや想像力を広げる機会づくりを行いました。継続事業として16年にわたり実施しており、地域の学校教育を支援する取り組みとして行いました。				
事業結果	京都市立嵯峨小学校へ文庫を寄贈し、児童の読書活動や学習環境の充実に貢献することができました。長年継続している事業として、学校とのつながりを深めるとともに、子どもたちが本に親しみきっかけづくりとなりました。今後も地域の子どもの成長を支える活動として、意義を確認する事業となりました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		小藤田 純
担 当 委 員 会 名		社会奉仕

事業名	右京ジュニア消防団への寄贈		
実施日	2026年2月19日	1.継続事業の場合	年
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都		
協力団体	京都市右京消防署		
参加人数	会員	13 名	→ 会員参加率 59.09 %
	市民	76 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	本事業は、地域の防災意識の向上と、次世代を担う子どもたちの健全な育成を支援することを目的として実施しました。 京都市右京消防署と連携し、右京ジュニア消防団の活動を支援するための寄贈を行いました。子どもたちが防災や消防活動への理解を深め、地域社会の安全を守る意識を育むきっかけとなるよう取り組みました。		
事業結果	右京ジュニア消防団への寄贈を通じて、子どもたちの防災活動や学習機会の充実に貢献することができました。 また、京都市右京消防署との連携により、地域防災を支える取り組みとして実施することができ、子どもたちの成長支援と地域社会の安全意識向上につながる事業となりました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		小原弘也
担当委員会名		社会奉仕委員長

事業名	第13回嵐山子ども相撲大会				
実施日	2025年10月4日(土) 実施予定 雨天の為、中止 1 継続事業の場合 13 年				
実施場所	例年、嵐山中之島公園で開催				
協力団体	京都府、京都市、京都市教育委員会、嵐山保勝会、京都相撲連盟、京都市立鳴滝総合支援学校				
参加人数	会員	49	名	→ 会員参加率	100 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	日本の伝統文化である相撲を通して、子供たちの育成に寄与することと地元嵐山の観光にも寄与する。				
事業結果	第13回嵐山子ども相撲大会は、雨天の為、中止となりました。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	1,091,174		円		
事業執行額	1,091,174		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 理事

氏 名 : 中村 篤人

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	障害者スポーツが繋ぐ共生の未来		
実施日	2025年11月7日	1.継続事業の場合	年
実施場所	京都市立紫竹小学校 体育館		
協力団体	京都市障害者スポーツセンター		
参加人数	会員 15 名	→ 会員参加率 75 %	
	市民 35 名		
	その他 京都市北区社会福祉協議会		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	小学校の総合学習（共生授業）の一環として、パラアスリートの指導のもと一緒に車椅子バスケットを体験することで、共に助け合い、理解し合う大切さを学びます。パラアスリートとの交流、講演を通じて障害を持つ人との心のバリアを取り除く体験を通じて、未来の共生社会の担い手として成長するきっかけを与えます。この取り組みが、教育を超えて、地域全体へと広がることを目指します。		
事業結果	紫竹小学校の小学5年生、約40名の生徒、また職業体験授業にきていた加茂川中学校の生徒にも参加してもらい、まずは当クラブ会長よりこの事業の趣旨、次いで車椅子やパラアスリートの手配をお願いした京都市障害者スポーツセンターの担当者から市内における障害者スポーツの現状などを説明してもらいました。 その後、講師のパラアスリートから車椅子の乗り方やボールを使った練習などのレクチャーを受け、チームに分かれて車椅子バスケットボールのゲームをパラアスリートの助けを借りながら行いました。 ゲーム後はグループに分かれて、各パラアスリートの体験談や質疑応答などを行ってもらいました。 当事業は、小学校での共生授業の一環として、障害者だけでなく様々な環境や立場にいる人たちとどう接したらよいか、社会としてどう考えていくべきかなどを学ぶいいきっかけとなったと考えます。 当事業では、協力いただいた障害者スポーツセンター様にバスケット用の車椅子を1台寄贈し、市内の障害者スポーツの振興に役立ててもらっています。 また後日例会に障害者スポーツセンター様のご担当者に卓話いただき、障害者スポーツセンターの活動や取り組みについての理解を会員で深めることができました。		
	 		
事業予算	542,862	円	
事業執行額	542,862	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 宇野明香
担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	子どもから高齢者までごちゃまぜが実現する持続可能なまちづくり（シンポジウム）		
実施日	2025.11.5	1 継続事業の場合	1 年
実施場所	キャンパスプラザ京都		
協力団体	NPO法人抱擁、京都市YS協会、京都市南区役所、唐橋自治連合会		
参加人数	会員 30 名	→ 会員参加率 75 %	
	市民 78 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	NPO法人抱擁のきぼうのまちプロジェクトを参考に、京都市内に多様性にあふれる地域・ごちゃまぜな居場所づくりを行う。点在している社会福祉事業支援拠点を結び、当事者や当事者を取り巻く支援者も含め多様な人々が主役となるイベントやツールの導入を企画し地域をあげたネットワークをつくる。この企画を発端とし、今年度銭湯の壁絵プロジェクトにつなげ、さらに次年度にはヤギの飼育を実施予定、3年計画を予定。 		
事業結果	キャンパスプラザ京都にてNPO法人抱擁の理事長奥田氏をお招きし、地域共生の価値を学び社会に発信、還元することを目的にシンポジウムを開催。京都市の後援を取得し、南区の区長や、一般の方、障がい者施設運営者、行政関係者など多岐にわたる属性の参加者を集め、多数の参加者（110名）が集い、共生社会の実現に向けた学びを深めることができました。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	446,960	円	
事業執行額	329,400	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長

氏 名 宇野明香

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	子どもから高齢者までごちゃまぜが実現する持続可能なまちづくり(銭湯の壁絵プロジェクト)		
実施日	2025.5.2~5.3	1.継続事業の場合	1 年
実施場所	まちの銭湯「洛陽湯」		
協力団体	洛陽湯		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率	49 %
	市民 39 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

障害の有無や子ども、高齢者を問わず、多様な人々が自然に交流できる地域を目指し、地域の人たちとともに、ごちゃまぜの社会を目指す交流拠点の象徴として、洛陽湯の看板を制作する。さらに、1年間の掲示を見据えてのれんのデザインも行い、今回の取組を長期的に発信する「ごちゃまぜな地域」を表現した壁絵(看板)を作成する。



事業結果

外で開催するイベントであったことから当日の天気に左右される一面もあったが、なんとか無事に2日間開催することができた。一般の参加者の方々がとても積極的に参加してくださり、また京都新聞にも取材いただいたことによって、京都朱雀RCの主催イベントであることが紙面で紹介され、2日目の飛び入り参加もあった。完成した看板は銭湯の運営者の方や近隣のかたからもおおむね好評であり、ごちゃまぜな社会を表現できる壁絵に仕上がったと思う。のれんのデザインにもチャレンジし、毎年書き換えてほしいなどといった要望も直接聞けた。



新聞、TV等での報道

京都新聞による取材。
5/3朝刊に掲載。



事業予算	355,000	円
事業執行額	503,600	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	社会奉仕担当
体験事業を	氏 名	石田光輔
	担当委員会名	奉仕プロジェクト

事業名	「砂場遊び」体験事業		
実施日	2026年8月28日	1.継続事業の場合	年
実施場所	京田辺市タナクロ		
協力団体	京田辺市教育委員会		
参加人数	会員	8 名	—— 会員参加率 57 %
	市民	20 名	
	その他	15	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

今年度も青少年を守り育て、地域社会に奉仕することを目標とし活動した。今年度は砂場遊び体験事業を企画し、幼児の非認知機能の育成を目指した。実際の活動として、田辺クロスパークの砂場に防暑用テントを寄贈、設置することと、大学の砂場遊びの権威に幼稚園児ならびに幼稚園教諭に砂場遊びを指導してもらうことを二本柱として計画を進めた。実施日は次年度5月の予定だったが、今年度の猛暑が予想されたため、子供たちの健康と安全を考慮して防暑用テントとベンチの設置を先行した。研修は次年度におこなう予定。

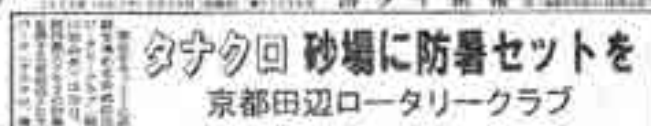
事業結果

設置したテント、ベンチは、猛暑から来場者の身を守るのに役立っている。後半の研修の成果は次年度に評価する。



新聞、TV等での報道

洛タイ新報（8/29掲載）京都新聞（9/4掲載）



事業予算	60万	円
事業執行額	57万	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 クラブ奉仕

氏 名 脇田 武勝

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	外国人技能実習生支援プロジェクト		
実施日	2025年11月26日(水)	1.継続事業の場合	年
実施場所	京都府立けいはんなホール		
協力団体			
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率 90 %	
	市民 名		
	その他 ミャンマーからの技能実習生・各施設の職員		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ミャンマーからの技能実習生との交流・交歓、招待者と実習生の橋渡し		
事業結果	実習生との交流・懇談を通じ、相互の理解を深められた。 ロータリークラブが取り組むことで、国際交流が達成された。		
			
新聞、TV等での報道	京都新聞・産経新聞に掲載された。		
			
事業予算	391,885	円	
事業執行額	391,885	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		奥村照夫
担 当 委 員 会 名		社会奉仕

事業名	野鳥を通じた自然環境保全と推進				
実施日	一年を通じて関連事業を実施		継続事業の場合		年
実施場所	石清水八幡宮山上、三河合流背割堤一体、京都府立八幡支援学校他				
協力団体	日本野鳥の会京都支部、				
参加人数	会員	14	名	—— 会員参加率	95 %
	市民	65	名		
	その他	50名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	石清水八幡宮を中心に野鳥の会の協力を得て、年内を通して事業を展開した。環境保全のPRに努めた。 ①京都府立八幡支援学校との探鳥会 ②小学生親子を招いて巣箱作り ③三河合・背割堤一体にて、市民を招いてバードウォッチング ④八幡宮山上の野鳥看板にQRコード設置				
事業結果	①八幡市支援学校とは継続事業とする。京都府から愛鳥指定校の認定を得る ②巣箱は各人が設置して観察中であります ③市民参加でバードウォッチングをして、自然と親しみ、野鳥の会より説明を受ける ④QRコード設置と野鳥週間が重なり、報道関係が取り上げた。八幡市観光協会に多数の問い合わせがあった。NHKテレビ放送もされた。   				
新聞、TV等での報道	①～④各行事、京都新聞が掲載した。特に④においては、NHKでTV放送された。				
事業予算	380,000		円		
事業執行額	380,000		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		祐野南清
担当委員会名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	第40回 五老ヶ岳ロータリーの道登ろう会		
実施日	2026年5月17日	継続事業の場合	41 年
実施場所	五老ヶ岳ロータリーの道および五老ヶ岳公園こども広場		
協力団体	後援：舞鶴市 協力：吹奏楽団ブルーマリNZ、PM舞鶴		
参加人数	会員 20 名	会員参加率 70 %	
	市民 200 名		
	その他 吹奏楽団25名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

舞鶴ロータリークラブのメイン事業です。舞鶴市のほぼ中心に位置する五老ヶ岳に登る登山道を市長を含め、多くの市民とともに登り、健康増進と環境保全の大切さを実感します。山頂では登り切った達成感を味わうとともに景色を眺めながら、2日前より会員が準備をした豚汁（250食）を振る舞い、食後は吹奏楽団ブルーマリNZによる演奏を楽しみ親睦を深めます。多くの市民に舞鶴の良さの再発見と舞鶴ロータリークラブの活動を知ってもらえる機会となります。

事業結果

天候にも恵まれ全てのプログラムが実施できました。いろいろな世代の方々が約200名参加してくれました。41回目の開催ですが毎年楽しみに参加される方や初めての方も山頂で充実した笑顔を見せておられました。また今回、舞鶴市の後援を得たことにより広報まいつるや舞鶴メールでのPRが出来たことで事業の認知度が高まりました。



新聞、TV等での報道

京都新聞に掲載。



事業予算	350,000	円	※この事業の主な財源は、地区補助金、グローバル補助金、クラブ資金、クラブ以外からの寄付、その他の中から、複数回答可です。
事業執行額	240,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		川口 孝文
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの桜保守・整備事業		
実施日	2026年5月26（火）	1 継続事業の場合	11 年
実施場所	主要地方道小倉西舞鶴線（28号）：通称 白鳥街道 森白鳥路線橋 付近		
協力団体	さくらプラザグループ		
参加人数	会員 1 名	→ 会員参加率 3 %	
	市民 名		
	その他 協力団体 5名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的：白鳥街道及び市道法面に山桜等を植樹し桜並木に育てる。 事業内容：桜並木の整備		
事業結果	桜並木の下草刈り、樹幹の葛除去及びゴミ回収並びに看板清掃を実施したが、協力団体の人員確保の都合により作業日が一日順延となり、クラブ会員の参加者が少なくなった。		
新聞、TV等での報道	  		
	なし。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,847	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		川口 孝文
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	舞鶴トレイル倶楽部等の活動支援		
実施日	2025年7月から2026年6月	継続事業の場合	年
実施場所	舞鶴トレイルコース等		
協力団体	舞鶴トレイル倶楽部、舞鶴道遊（まいづるどうゆう）くらぶ		
参加人数	会員	延べ20 名	会員参加率 62 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的：舞鶴トレイル倶楽部等の活動（①古道・旧道の調査・整備、②整備したトレイルコースのMAP作成、③コースを利用したイベント等の企画・実施等）を支援するとともに、ロータリー活動の一環として協働する。 事業内容：舞鶴トレイル倶楽部の活動の支援及びイベントの共催		
事業結果	・実施期間中、舞鶴地域のトレイルコースやハイキングコース、古道等の調査・整備を協働した。 ・2025年11月30日（日）舞鶴市と綾部市にまたがる弥仙山ファミリーハイクの共催を予定していたが、「クマ目撃情報」が全国的に広がっており、舞鶴市でも同様の状況であることに鑑み、共催を取りやめた。なお、事業自体は40数人が参加し予定通り開催され、事故なく終了している。 ・今年度に入り舞鶴市及び近隣市町においては、自治体が後援する「青葉山トレイルマラソン大会」や「あやべ水源の里トレイルラン」が開催されており、クマ対応も含め危険要素を精査し、安全なイベント開催の共催を実施したいと考えている。		
新聞、TV等での報道	  なし。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 川口 孝文
担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの桜保守・整備事業		
実施日	2026年3月18日（水）	1.継続事業の場合	年
実施場所	主要地方道小倉西舞鶴線（28号）：通称 白鳥街道 森白鳥路線橋 付近		
協力団体			
参加人数	会員 1 名	会員参加率 3 %	
	市民 名		
	その他 会員は設置作業等の立会・確認		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的：市道法面のロータリーの桜並木に看板を設置する。 事業内容：「ロータリーの桜」看板の設置 古くから桜が植樹されていた府道側には「ロータリーの桜」を明示する看板が設置されていた。府道に接続する市道が整備され、そののり面に山桜等を当クラブが植樹した。この新たに植樹した桜も成長したことから、「ロータリーの桜」を明示するために看板2基を設置するもの。		
事業結果	業者により看板を作成、設置した。当クラブの活動を広く市民等にアピールすることができたものと思料する。  		
新聞、TV等での報道	なし。		
事業予算	100,000	円	
事業執行額	122,100	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		國府 喜久夫
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	園部駅西口花壇の花植替え		
実施日	2025.7.9(水) 12.16(火)	1.継続事業の場合	年
実施場所	JR園部駅西口		
協力団体	京都府立農芸高等学校、京都聖カタリナ高等学校		
参加人数	会員 18 名	—— 会員参加率	%
	市民 名		
	その他 生徒 7名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	駅の利用者に気持ちよく利用していただけるように、年2回花植えをしています。京都府立農芸高等学校の生徒さんたちが育てられた花苗を、京都聖カタリナ高等学校IACの皆さんと一緒に植えました。また配色バランスや植え方などは、京都府立農芸高校の生徒様に教わりながら植えました。		
事業結果	通勤、通学で駅を利用される方に、ほんのすこしの安らぎを与えられており、ボーイ捨ても少なくなっているように感じる。また、京都聖カタリナ高等学校と京都府立農芸高等学校の生徒さんと共同で作業をしたので、両校生徒の交流もでき、有意義な活動となった。		
			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	42,750	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 國府 喜久夫
担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	献血活動		
実施日	2025.10.30（木）、2026.2.16（月）	継続事業の場合	42 年
実施場所	京都建築大学校 京丹波町役場		
協力団体	南丹市		
参加人数	会員 19 名 市民 名 その他	会員参加率 86 %	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
今年度2回の献血活動を行いました。健康に感謝し、簡単にできる奉仕活動である、「献血活動」を住民に皆様に周知し、献血数を確保する事を目的として開催。			
事業結果			
事前に会員事業所や家族にも声かけをし、何とか採血数を確保出来ました。今後の課題としては開催場所、開催時間等、人が集まる時間、場所を実施検討していくのが今後の課題。			
 			
新聞、TV等での報道			
地元のケーブルテレビで献血実施日の案内をし、対象の方地域に新聞折込み広告をしました。			
事業予算	100,000	円	
事業執行額		円	
この事業の主な財源 (複数回答可) ☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

報告者 役 職 社会奉仕委員

氏 名 岩井正和

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	クリーン宇治運動		
実施日	2025.3.1. (2025.11.9. 2026.6.7 →雨天中止) 年		
実施場所	宇治川右岸堤防 (宇治橋以南～菟道丸山地先)		
協力団体	宇治青年会議所、宇治商工会議所		
参加人数	会員 10 名 市民 名 その他	→ 会員参加率 33 %	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会奉仕活動の一環として、宇治市の代表的景観である宇治川周辺を清掃し、市民はもとより観光客への環境改善を目的とする		
事業結果	3回開催しましたが2回雨天の為、実施できませんでした。 安全に配慮しながら無事に清掃活動ができました。 クラブ内での参加人数減少が目下の悩みです。		
新聞、TV等での報道	 クリーン宇治運動は地元紙「洛タイ新報」に掲載		
事業予算	10,000	円	
事業執行額	10,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 会長

氏 名 安井 克典

担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	年末餅つき大会				
実施日	2025年12月20日	1.継続事業の場合		年	
実施場所	社会福祉法人宇治東福祉会ワークセンター宇治作業所				
協力団体	ワークセンター宇治作業所父母の会				
参加人数	会員	8	名	→ 会員参加率	24 %
	市民	200	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	障害者支援施設社会福祉法人宇治東福祉会にて、毎年恒例の年末の福利厚生を兼ねた事業として、餅つき大会と豚汁の炊き出しを開催して来たが、コロナ禍で、中止が続き、この度入所者を中心に再開を切望される中、以前のようなボランティアの支援がなく、当クラブが協力支援することで再開実現のため、事業を計画致しました。				
事業結果	当日は、雨の予報でしたが、晴天となり施設で生活・通所する生徒や利用者が、自ら餅をつくり、できたての餅を食べることで幸福感や皆で協力して餅つきができたという達成感を感じてもらうことができ、今後の生きていく上での糧にしてもらえ、また、その御家族、職員の労をねぎらい、そのお互いの関係づくりにも貢献することができました。				
新聞、TV等での報道	京都府南部の地方紙「ラクタイ新報」次の日に掲載していただきました。				
事業予算	334,792	円			
事業執行額	334,792	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 委員長

氏 名 中田 善弘

担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	みらい育成プロジェクト				
実施日	2026年2月01日～2026年6月10日		↑継続事業の場合		年
実施場所	福井市地域交流プラザ アオッサ				
協力団体	福井県庁 高校改革課				
参加人数	会員	100	名	→→ 会員参加率	78 %
	市民	80	名		
その他 高校生の作品を購入した市民の合計は10チーム計1万名ほど					
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
福井県内の高校生チームが、社会課題の解決やビジネス探究をテーマに事業計画書を作成し、そのプロジェクトを実施、検証、発表した。ロータリークラブの専門家が伴走し、成果を出せるように支援する。また発表会での表彰や実用化のサポートも行った。 例) ・県外出身の県内大学生に福井の良さを知って県内に残ってもらいたいので観光地で5感に響くイベントを実施 ・県内のオリーブを使ってモノや食品を開発し広めて世界平和を目指す 等					
事業結果					
本プロジェクトを通じて、高校生は実践的な課題解決力やコミュニケーション能力を身につけることができました。 地域企業や専門家と協力することで、前向きな大人に触れ、社会の仕組みを学び、キャリア形成に役立つ経験を積むことができました。 これらの経験は、進学や就職の際にも大きな強みとなり、将来の可能性を広げることにつながりました。 さらには後輩をも巻き込んで事業を継続するチームも現れ、指導する教職者の探究活動事業の意欲や質の向上にも絡めることができ、探究の輪を拡大して次年度に期待ができる事業となりました。 また、ロータリーとしても公共のメディア等に多く掲載されイメージアップにも寄与することができました。					
新聞、TV等での報道					
地元の新聞、メディアにロータリーが主催した研修・報告事業が報道され、各高校生のチームは事業の実施や内容についてインスタグラムなどのSNSで告知をし、テレビにも広く取り上げられました。					
					
事業予算	958,300		円		
事業執行額	924,670		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 末永雄樹
担当委員会名 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕事業 子ども達とのサッカー交流教室		
実施日	2026年10月26日	↑継続事業の場合	年
実施場所	福井県営陸上競技場（9,98スタジアム）		
協力団体	福井ユナイテッドFC		
参加人数	会員 7 名	会員参加率 13 %	
	市民 32 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

【事業目的】

地域の子どもたちにサッカーを通じた交流の機会を提供し、スポーツの楽しさや仲間と協力する大切さ、挑戦する心を育むことを目的とする。また、地域スポーツチームとのふれあいを通じて、子どもたちの健全育成および地域とのつながりを深める機会を創出する。

【事業内容】

福井ユナイテッドFC協力のもと、ロータリークラブ社会奉仕事業として「子どもたちとのサッカー交流教室」を開催した。選手やスタッフと子どもたちが直接交流しながら、基礎的なサッカー体験やミニゲーム等を実施。スポーツを楽しみながら交流を深め、地域全体で子どもたちの成長を支える機会づくりを行った。

事業結果

【事業結果】

当日は多くの子どもたちに参加いただき、大変盛況な事業となった。福井ユナイテッドFCの選手・スタッフとの交流を通じて、子どもたちはサッカーの楽しさだけでなく、仲間と協力することの大切さや挑戦する気持ちを体感する貴重な機会となった。会場内には終始子どもたちの笑顔と活気があふれ、参加者や保護者からも多くの喜びの声や感謝の言葉をいただいた。地域スポーツと社会奉仕活動が一体となることで、子どもたちの健全育成や地域のつながりの大切さを改めて実感する機会となり、ロータリークラブとして地域社会へ貢献する意義を改めて強く感じる、大変有意義な事業となった。

新聞、TV等での報道

新聞媒体
(日刊福井)



事業予算	550,000	円
事業執行額	485,208	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		佐々木 伸
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	珠洲市奉仕事業		
実施日	2026年2月21日(土曜)～22日(日曜)	1.継続事業の場合	年
実施場所	珠洲市		
協力団体	珠洲市観光交流課		
参加人数	会員 23 名	会員参加率 45 %	
	市民 500 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	珠洲市主催で行われたイベント事業「食彩珠洲まるかじり」に福井フェニックスRCも参加させて頂きました。この事業については当クラブの会長肝いりの事業で1年前以上から現地で色々打合せを重ねて来ました。 当クラブとしては当日親子連れの方々も沢山お見えになるという事で、録日 ステージでのバルーンショーまた、市役所内をお借りして当クラブの専門家による(建築関連・法律関係・その他)相談会も開催。		
事業結果	今回の珠洲市におけるイベントに当クラブから23人参加して2日間冬の珠洲では珍しいくらいの晴天に恵まれたのが一番良かったのではなかったかと思えます。 特に録日では親子連れも多く来場していただけて、入場制限を検討するくらいに活況でたくさんの子供さんに来ていただけてたくさん笑顔を見る事が出来ました。 ステージ上ではバルーンショーでも子供たちの素敵な笑顔を見る事が出来てすごく盛り上がりもらえました。 イベント終了後では凄く気さくな珠洲市長を交えての集合写真も撮れて、イベントを締めくくる事が出来ました。		
新聞、TV等での報道	北陸中日新聞、北國新聞、福井新聞、日刊福井、その他		
事業予算	125万	円	
事業執行額	165万	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名	橋本 誠治	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕	

事業名	本向寺清掃奉仕活動		
実施日	2025年8月3日	1 継続事業の場合	2 単
実施場所	本向寺 本堂・本堂周辺		
協力団体			
参加人数	会員 24 名	→ 会員参加率 51.06 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	昨年に引き続き物故者法要例会に備えて、本堂周辺、本堂の中の掃除。		
事業結果	本堂周辺の草むしり、本堂の畳及び板床の拭き掃除を行いました。 8月25日の物故者法要を気持ちよく迎えました。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	2,978	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
	氏 名	橋本 誠治
	担 当 委 員 会 名	社会奉仕

事業名	一乗谷朝倉氏遺跡外來種駆除作業		
実施日	2025年8月31日	1. 継続事業の場合	6. 年
実施場所	一乗谷朝倉氏遺跡		
協力団体			
参加人数	会員 27 名	→ 会員参加率 55.32 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☒ 2. 地域発展 ☒ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	外來種駆除作業は、福井の宝である一乗谷朝倉氏遺跡の好感度を上げるのに役立てる。		
事業結果	いばらのような棘がある草もあり。大変でしたが、きれいになりました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	0 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
	氏 名	橋本 誠治
	担 当 委 員 会 名	社会奉仕

事業名	福井県立富学校除草作業		
実施日	2025年10月18日	1.継続事業の場合	12 年
実施場所	福井県立富学校校内周辺		
協力団体			
参加人数	会員 17 名	→ 会員参加率	36.17 %
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	学校祭に合わせての学校周辺の除草活動。		
事業結果	天気に恵まれてスムーズに除草できました。活動終了後、学校祭を見学でき、会員の理解が進んだと思います。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名	橋本 誠治	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕	

事業名	春の足羽川清掃活動		
実施日	2026年3月16日	1. 継続事業の場合	24 年
実施場所	足羽川 本田橋～板垣橋右岸		
協力団体	NPO法人ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員 19 名	→ 会員参加率	40.43 %
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☒ 2. 地域発展 ☒ 3. 環境保全 ☒ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	地元で活動している各種団体と共に、花火大会会場や春まつりイベント会場になったりする、豊かで潤いのある河川環境保全のための事業		
事業結果	毎年の清掃活動の結果か、ゴミは少なくなっていると思われる。続けることが、大事だと思う。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	1,940 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	飛田幸平	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	足羽山 親子ふれあいのつどい				
実施日	2026.5.17		1.継続事業の場合		年
実施場所	福井県福井市足羽山				
協力団体	福井市内特別支援学校4校・福井県レクリエーション協会				
参加人数	会員	20	名	→ 会員参加率	20 %
	市民	34	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	福井市内の支援学校4校に通う261名の児童・生徒・卒業生の方に呼びかけ父兄を含む34名の参加をいただく。 当日は、福井市自然史博物館では学芸員による足羽山の自然についての解説を聞き、その後動物園では当クラブが寄贈したミニブタの成長も見ていただき、カピバラをはじめとする動物と触れ合うほか、福井県レクリエーション協会の協力により、参加者全員で楽しめるレクリエーションゲームも実施し、お弁当やキッチンカーでの飲食をして交流を深める。				
事業結果	福井市内の支援学校4校に通う261名の児童・生徒・卒業生の方に呼びかけ父兄を含む34名および当クラブ会員（親子含む）20名が参加した。 当日は、福井市自然史博物館では学芸員による足羽山の自然についての解説を聞き、その後動物園では当クラブが寄贈したミニブタの成長やカピバラをはじめとする動物と触れ合うほか、福井県レクリエーション協会の協力により、参加者全員で楽しめるレクリエーションゲームも実施し、お弁当やキッチンカーでの飲食をして交流を深めた。				
新聞、TV等での報道	 5/19（火）福井新聞に掲載された。（添付） 5/23（土）日刊県民福井にも掲載された。 				
事業予算	25万円	円			
事業執行額	25万円	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	副会長・奉仕プロジェクト委員
氏 名		上木 義晴
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	ドラゴンリバー 足羽川河原清掃活動		
実施日	2026年3月15日	1 継続事業の場合	12 年
実施場所	福井市内足羽川河原 木田橋南側		
協力団体			
参加人数	会員	9 名	会員参加率 41 %
	市民	多数 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	NPO法人ドラゴンリバー交流会が呼びかける「クリーンアップ福井大作戦」に今年度も参加した。福井市中央に流れる足羽川河原を約50団体が一斉に清掃し、安心して市民が楽しめる環境になるよう協力した。		
事業結果	8:00に集合。燃えるゴミ、燃えないゴミ用とゴミ袋2つを各自携行して河原全面のゴミを徹底的に拾い集めた。今年は2月下旬にたくさんの雪が降りましたが、清掃当日には雪がなくなり、河原は綺麗になりました。桜の名所で知られる足羽川堤防での花見も楽しめるでしょう。		
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	3,000	円	
事業執行額	3,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	副会長・奉仕プロジェクト委員
氏 名		上木 義晴
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	桜、「地域に豊かな語らいを！」		
実施日	2026年3月1日	1.継続事業の場合	年
実施場所	福井工業大学芦原学舎		
協力団体	福井地区ミニバスケット連盟の子供たち		
参加人数	会員 18 名	会員参加率 79 %	
	市民 名		
	その他 ミニバスケットボール少年団16名、IAC1名、金井学園4名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	福井県の北海湖のほとりに有る福井工業大学芦原キャンパスは地域に開かれており桜の名所にもなっている。そこを更なる地域の憩いの場とするべく新たに桜の植栽を行った。この品種は、春、秋年に2度開花する。また2018年3月にロータリー財団100周年事業の一環として行った桜植栽事業のメンテナンスとして、肥料やり、周囲の除草も行った。		
事業結果	これから2,3年後には更に桜の名所になっていき付近の住民の憩いの場となると期待される。また100周年で植樹した桜も施肥により成長に拍車がかかった。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	848,500	円	
事業執行額	857,779	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
	氏 名	中村 淳
	担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会

事業名	「子どもホスピスのイメージを変える」シンポジウム開催事業		
実施日	2026年3月20日	継続事業の場合	年
実施場所	福井県自治会館		
協力団体	NPO法人福井子どもホスピス		
参加人数	会員	12 名	→ 会員参加率 50 %
	市民	50 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

- ・「子どもホスピス」についてのシンポジウムを開催して、県民に、「子どもホスピス」への理解や関心を高めるつつ、普段外出できない子ども達に、安心して遊べる機会を提供することを目的とする。
- ・子どもホスピスの設立を目指す団体の専門家からの講演をおこなう。
また、スマートボールなどのゲーム広場やプラネタリウムの設置、バルーンアートのワークショップなどを併設して、子ども達に遊んでもらう。

事業結果

- ・県内外から、50名の参加者が集まり、子どもホスピスについての講演を視聴してもらった。
- ・参加者からは、子どもホスピスへの理解が深まったといった感想があり、福井に子どもホスピスを設立する機運の高まりに貢献できた。
- ・ゲームに参加した子ども達は、皆楽しそうに、時間を過ごしてもらえた。
- ・運営したNPO法人福井子どもホスピスやボランティアグループと、当クラブとの交流が深まり、当クラブの奉仕活動の充実に好影響があった。

新聞、TV等での報道

- ・県内の新聞各紙において取り上げられた。



事業予算	820,000	円
事業執行額	716,287	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	兼任プロジェクト委員長
氏 名	荒川 純治	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	ユニファイドサッカートレーニングマッチ		
実施日	2025年11月16日	1.継続事業の場合	年
実施場所	テクノポート福井総合公園サッカー場		
協力団体	福井ユナイテッドFC スペシャルオリンピックス日本福井 福井県立大学サッカー部		
参加人数	会員	22 名	→ 会員参加率 90 %
	市民	10 名	
	その他		

事業分野 ☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他

事業目的及び事業内容

県外より4チーム参加があり計5チーム総当りで、知的障害のある選手と健全者の選手が共にプレーし、スポーツの楽しさとチームワークを育み、相互理解を深め共生社会の実現に寄与することを目的とする。



事業結果

- ・障害の有無に関係なく同じチームでプレーする事で、相互理解が深まりました。
- ・地域の人々が参加・協力することで、スポーツを通じたコミュニティづくりが出来ました。
- ・他県のチーム同士の交流が深まりました。



新聞、TV等での報道

取材には福井新聞、日刊越前福井、福井テレビ、福井ケーブルテレビが訪れ、特に福井テレビに於いては夕方の情報番組で特集を組んでくれた。



事業予算	870,130	円
事業執行額	1,078,202	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名	幅田浩司	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	長山ロータリー公園清掃作業				
実施日	2026年6月2日	1.継続事業の場合	56	年	
実施場所	勝山市 長山つつじ公園				
協力団体	なし				
参加人数	会員	14	名	→ 会員参加率	63.63 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	2026年6月2日、勝山市長山つつじ公園にて園内の落ち葉清掃、雑草除去、つつじの剪定を早朝例会として行った。				
事業結果	    				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	5,000	円			
事業執行額	4,680	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		前川 徹
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	町とヒトトキ事業 ～地域の宝を育てよう～				
実施日	2026年4月19日	1.継続事業の場合		年	
実施場所	丸岡城 お天守前公園				
協力団体	坂井青年会議所				
参加人数	会員	11	名	→ 会員参加率	37 %
	市民	31	名		
	その他	坂井青年会議所メンバー 6人			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	子供たちの郷土愛の醸成を図るとともに、奉仕活動を通じて社会性を育むことを目的に実施。地域のシンボルである丸岡城の公園に設置された木製ベンチを、小学生の親子が協力し合ってペンキ塗りをしてきれいにする奉仕作業。ロータリー会員やJＣメンバーも一緒に作業のサポートを行う。 作業終了後には丸岡城観光ボランティアガイドによる解説を親子で聞きながら、地域の宝「丸岡城」の探検を行う。				
事業結果	13組の小学生親子が参加し、3つのグループに分かれて活動を行った。好天にも恵まれたこともあり、木製ベンチのペンキ塗りの作業も予定通り終了することができた。初めて会った親子同士が協力しながら作業を進めるには、まず親同士のコミュニケーションが大事で、その様子を見て子供同士も声を掛け合っていた。このことは協調性、社会性を育むのに有効な体験であった。また、市民や観光客が利用するベンチをきれいにするといった体験は、奉仕の心とやり遅げた達成感が芽生え、将来の社会活動へと結びつけるきっかけになったと思う。「丸岡城」探検では、改めてお城の魅力を知ることができ、ふるさとの宝として親子で郷土に誇りと愛着を持ってもらうことができた。 最後に、坂井青年会議所と共同開催することで、お互いの会員の交流ができた。				
新聞、TV等での報道	なし  				
事業予算	110,000	円			
事業執行額	64,555	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職

氏 名 大嶋 一英

担当委員会名 社会奉仕委員長

事業名	親子で海岸清掃・地引網体験事業		
実施日	2026年5月30日	1. 継続事業の場合	年
実施場所	福井県坂井市三国町 浜地海岸		
協力団体			
参加人数	会員 9 名	会員参加率 53 %	
	市民 140 名		
	その他		
事業分野	☐ 1. 人間尊重 ☐ 2. 地域発展 ☒ 3. 環境保全 ☒ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	地域の環境保全を中心に合わせて親子の交流を目的に行った。 海岸べりのゴミ収集を行い、美化運動と共に砂浜の安全性を高めた。		
事業結果	参加人数は ・一般親子 140名 ・青年会議所 8名 ・4-5-クラブ 9名 <開催時間は9:30~10:30> 当日は好天に恵まれ参加者数は予定人数を上回り 楽しく会話しながら清掃を行った。 しかし、海は波が高く網を入れられず地引網体験事業が中止となったのは残念。  		
新聞、TV等			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	70,000	円	
この事業の主な財源	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕・環境保全委員長
氏 名		青藤 善有
担当委員会名		社会奉仕・環境保全委員会

事業名	芝生化グリーンプロジェクト				
実施日	108年6月6日(土)		1.継続事業の場合	5回目	年
実施場所	いとよミライエこども園				
協力団体	いとよミライエこども園保護者会				
参加人数	会員	20	名	→ 会員参加率	50 %
	市民	32	名		
	その他	小学生5人 中等園児17			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	子どもたちが1日のうち多くの時間を過ごすこども園の園庭を芝生化し、土踏まずの形成期である二歳から五歳までの間に、はだしで思いっきり遊べる環境を整えることによって、子供たちの健全な成長を促し子どもたちが元気になることを目的とする。 また、ヒートアイランド対策、飛砂制止などさまざまな効果を期待する。				
事業結果	今年で五回目となる市内こども園の園庭を芝生にして、元気よく裸足で遊んだり運動ができる環境を提供する事で、将来を担う子どもたちが心身ともに健康に育ち成長してくれる事を支援する。 今回は、いとよミライエこども園の園庭を会員、園児や保護者会、こども園関係者とともに作業して芝生の苗を植えた。 これからの季節に、ヒートアイランド対策など子供たちが自由に遊ぶ機会が増える事も期待出来る。				
新聞、TV等での報道	地元の新聞記事に紹介された。(県民福井) 				
事業予算	1,086,870		円		
事業執行額	1,012,160		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名	野中 敬昭	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	ヘルメット着用で命を守るプロジェクト				
実施日	2026年2月19日	1.継続事業の場合		年	
実施場所	福井工業高等専門学校 研修会場				
協力団体	福井県鯖江警察署、福井県美容業生活衛生同業組合				
参加人数	会員	30	名	→ 会員参加率	88.23 %
	市民	100	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	地域の高校生が交通ルールを理解し、自転車運転時には率先してヘルメットを着用するようになり、それが当たり前になれば、広く一般にも更なる交通ルールの順守と安全意識の向上が期待できる。				
事業結果	自転車通学を希望する学生を対象に、4月1日に改正される自転車交通法の内容講習と、ヘルメット着用後のヘアケアのヒントを学んだ。その後、自転車通学生に100個のヘルメット寄贈式を行った。				
新聞、TV等での報道	福井新聞にて報道された。				
事業予算	600,000	円			
事業執行額	592,700	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名	矢尾 主成	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	こどもと障がい者のためのコンサート ～みんなのコンサート～				
実施日	2025年 8月 31日（日）		1.継続事業の場合	2.年	
実施場所	福井県越前市文化センター				
協力団体					
参加人数	会員	32	名	→ 会員参加率	60 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	幼児と小学生そして障がい者を対象に、武生ロータリークラブが長きにわたり続けている「武生国際音楽祭」の開催に合わせ国内外から参集する音楽家の人たちと情操教育の機会となるコンサートを主催する。昨年は、幼児とその保護者のみでしたが、対象者を小学生にまで広げることで、生演奏の素晴らしさを通じ、脳が刺激され感受性豊かな子供に育つと考えています。				
事業結果	9:00 越前市文化センター 大ホール集合・開会 10:00 開場 10:30 みんなのコンサート開演 11:30 終了 片付け 12:00 昼食会 12:30 解散				
新聞、TV等での報道	無し				
					
事業予算	467,620		円		
事業執行額	457,104		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		矢尾 主成
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	しきぶ駅前広場整備に係る屋外サインの寄贈		
実施日			1 継続事業の場合 年
実施場所	福井県越前市「しきぶ駅」		
協力団体			
参加人数	会員	3 名	→ 会員参加率 6 %
	市民	0 名	
	その他 武生東高校インターアクトクラブより3名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	新しく出来た「しきぶ駅」およびその周辺の発展のため、しきぶ駅前広場の整備に役立てるための物品を寄贈する		
事業結果	12月23日 市役所にて、贈呈式 2月 3日 例会にて状況報告 3月14日 しきぶ駅開業時にお披露目式 		
新聞、TV等での報道	無し		
事業予算	360,000	円	
事業執行額	352,880	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		矢尾 主成
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	吉野瀬川河川敷奉仕作業（移動例会）														
実施日	2026年 3月 21日（土）	1.継続事業の場合	3 年												
実施場所	福井県越前市下太田町														
協力団体	武生東高校インターアクトクラブ														
参加人数	会員 20 名	会員参加率 50 %													
	市民 0 名														
	その他 武生東高校インターアクトクラブより3名														
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他														
事業目的及び事業内容	吉野瀬川桜並木の桜開花前に清掃作業を行い社会奉仕活動とする。														
事業結果	<table border="1"> <tr> <td>10:30～10:45</td> <td>受 付</td> <td>場所：カワイビル</td> </tr> <tr> <td>10:45～11:00</td> <td>例 会</td> <td>場所：カワイビル</td> </tr> <tr> <td>11:00～12:00</td> <td>作業奉仕</td> <td>場所：吉野瀬川河川敷</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>解散</td> <td></td> </tr> </table>			10:30～10:45	受 付	場所：カワイビル	10:45～11:00	例 会	場所：カワイビル	11:00～12:00	作業奉仕	場所：吉野瀬川河川敷	12:00	解散	
10:30～10:45	受 付	場所：カワイビル													
10:45～11:00	例 会	場所：カワイビル													
11:00～12:00	作業奉仕	場所：吉野瀬川河川敷													
12:00	解散														
新聞、TV等での報道	無し														
															
事業予算	140,000	円													
事業執行額	78,512	円													
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他														

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名	酒井 秀夫	
担当委員会名		

事業名	『かがやきある街』絵画展		
実施日	2025年9月、10月	継続事業の場合	4 年
実施場所	越前市サンドーム福井会場・たけふ楽市会場		
協力団体	なし		
参加人数	会員 20 名 市民 名 その他	会員参加率	90 %
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブが2026-2027年度に毎年行っている青少年奉仕『夢あるまちづくり絵画展』を通じて、この節目の年を広く地域に告知すると共に、地域を支える子供たちの絵に市民に関心を寄せていただく。 9月18日19日 サンドーム福井でのものづくりフェスタにて展示 9月22日～10月5日 ショッピングセンター『武生楽市』にて展示		
事業結果	本事業は、市内のこども園において継続的に実施されており、子供たちが絵画制作を楽しみながら豊かな感性を育む機会として定着しています。また、地域の伝統工芸である越前和紙に触れることで、子供たちが、郷土の文化や、伝統に関心を持つきっかけになりました。 さらに、子供たちが制作した作品を地域住民の皆様にご覧いただくことで、世代を超えた交流が生まれ、地域に笑顔と活力を届ける事ができました。 本事業は、子供たちの情操教育の充実に加え、地域文化の継承と発展に寄与する有意義な取り組みとなりました。		
新聞、TV等での報道	地元のローカルケーブルテレビで放映され、地域住民へ広く周知されました。		
事業予算	998,685	円	
事業執行額	1,034,269	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 義志
担当委員会名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	美浜町・若狭町の小学校への優良図書贈呈事業		
実施日	2025/7/31～2026/4/3	継続事業の場合	年
実施場所	美浜町・若狭町の各小学校（11校）		
協力団体			
参加人数	会員 22 名	会員参加率 88 %	
	市民 名		
	その他 小学校児童1000名とその学校関係者及び保護者		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

スマホやパソコンの普及で読書離れが深刻な問題となっていることから、各小学校（美浜町3校、若狭町8校の計11校）に図書を寄贈しより多くの図書を読ませたいとの思いで、図書の贈呈（全393冊）を行った。

これまでに敦賀市内の小学校、保育施設、学童クラブに優良図書の贈呈を行ってきており、大変好評であったことから、敦賀ロータリークラブの残りの所在地域である美浜町、若狭町の小学校に展開した。

事業結果



新聞、TV等での報道

町長への贈呈式の様子が地方新聞、地域広報誌に掲載され、ケーブルテレビで放映された

事業予算	690,260	円
事業執行額	690,260	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 毅志
担当委員会名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	新一年生へのランドセルカバー贈呈事業		
実施日	2025/4/2～2025/4/8	継続事業の場合	63 年
実施場所	敦賀市内の小学校（11校）		
協力団体			
参加人数	会員 11 名	会員参加率 34 %	
	市民 名		
	その他 小学校新一年生438名とその学校関係者及び保護者		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

会員が4月8日の入学式に出席し、ランドセルカバーを新一年生（438名）に贈呈し、お祝いの言葉とともに、ご父兄へも贈呈の主旨を伝えた。
 入学式に先立ち、4月2日には、会長が、全11校へランドセルカバーを届け、ランドセルカバー配布の主旨を伝え、ロータリークラブの活動についても広く知って頂けるよう敦賀ロータリークラブの活動を記載したチラシのご父兄への配布もお願いした。

事業結果



新聞、TV等での報道

事業予算	210,000	円
事業執行額	210,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 義志
担当委員会名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	親子のフェスティバル協賛事業		
実施日	2026年5月10日	継続事業の場合	32 年
実施場所	きらめきみなと館イベントホール		
協力団体	主催：青少年健全育成敦賀市民会議 後援：国交省・自衛隊福井・敦賀海保・敦賀美方消防・敦賀市市長連合会・福井ケーブルネットワークなど 共催：敦賀市・敦賀市教育委員会		
参加人数	会員 9 名	→ 会員参加率	36 %
	市民 300 名		
	その他 こども150名とその保護者		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	第44回親子のフェスティバルへ協賛参加し、次世代を担うこども達にモノづくりの楽しさを体験してもらい、健全な育成に資するための活動を行った。今回も敦賀RCのブース出展は毎年行っており、こども達に大変人気のある「グラスアートづくり」（スタンドグラス風の小物入れを作り）とし、敦賀気比IACメンバーがこども達をサポートし、小物入れを完成させて、持ち帰りいい思い出となっている。また、親子のフェスティバルでは多くの団体が参加し、様々な催しが行われており、市民総出のイベントの中でロータリークラブのPRにも貢献できた。		
事業結果	  		
新聞、TV等での報道	ケーブルテレビで放映された		
事業予算	142,000	円	
事業執行額	128,800	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 義志
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	児童養護施設慰問事業		
実施日	2026年4月3日	1 継続事業の場合	19 年
実施場所	旧北小学校体育館		
協力団体			
参加人数	会員 7 名	→ 会員参加率 28 %	
	市民 33 名		
	その他 施設児童23名、施設職員10名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	白梅学園が行う交流会に参加し、室内ゲームを白梅学園チームとロータリークラブチームに分かれて行い、児童たちとの交流を図った。また、クラブからは、施設使用料・昼食代・景品代の支援を行った。 室内ゲーム 「足踏みゲーム」「逆さ言葉ゲーム」「絵で伝言ゲーム」 「数字ぬき数えゲーム」「〇×クイズ」「白梅学園笛舎の歌」		
事業結果	    		
新聞、TV等での報道			
事業予算	80,000	円	
事業執行額	74,331	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	ロータリー理念委員長
氏 名		西村 弘
担当委員会名		ロータリー理念委員会

事業名	高校生を対象とした就職模擬面接事業		
実施日	2025年8月22日	継続事業の場合	41 年
実施場所	きらめきみなと館イベントホール		
協力団体	会員企業		
参加人数	会員 6 名	→ 会員参加率	24 %
	市民 14 名		
	その他 面接参加生徒61名、先生4名、他学校関係者数名、ロータリークラブ事務局1名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当奉仕活動は職業奉仕及び青少年奉仕の観点から、会員の職業と経験を活かし就職を希望する高校生の就職活動を支援する事業として実施。敦賀市内の敦賀高校（定時制含む）、敦賀気比高校の就職希望者を対象に就職模擬面接を実施した。		
事業結果	- 参加生徒数 61名（先生4名、他数名） - 面接官 18名（会員およびその協力者） 他運営者3名 - 終了後、参加生徒にアンケート実施 - 懇談会 面接官と先生で実施結果について意見交換		
新聞、TV等での報道			
事業予算	143,000	円	
事業執行額	143,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 義志
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	こども食堂慰問事業		
実施日	2025/3/25～4/21	1.継続事業の場合	8 年
実施場所	敦賀市内のこども食堂（4施設）		
協力団体	敦賀気比インターアクトクラブ		
参加人数	会員 8 名	→ 会員参加率 32 %	
	市民 6 名		
	その他 こども食堂利用者約140名、スタッフ47名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	敦賀市内のこども食堂に希望する品（食器、食材など）を届けるとともに、準備・片づけなどの食堂運営の協力、紙芝居演技・ミニコンサート等によるこども食堂利用者との交流を図った。本事業には敦賀気比インターアクトクラブからも参加者を募った。		
事業結果	3月25日（水）こども食堂「おひさま」慰問 4月12日（日）こども食堂「愛発ん家」慰問 4月15日（水）こども食堂「めぐの家」慰問 4月21日（火）こども食堂「青空」慰問    		
事業予算	80,000	円	
事業執行額	80,222	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		坂井 毅志
担 当 委 員 会 名		奉仕プロジェクト委員会

事業名	松原海岸清掃奉仕		
実施日	2025/9/6 2026/3/13 6/7	1.継続事業の場合	47 年
実施場所	気比の松原海岸		
協力団体	敦賀気比インターアクトクラブ、敦賀西ロータリークラブ、敦賀海洋少年団、日本ボーイスカウト福井連盟敦賀第3団		
参加人数	会員 28 名	→ 会員参加率	38 %
	市民 77 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	日本三大松原である敦賀気比の松原の清掃を行い、景観の維持に努める。なお、実施にあたっては、敦賀気比高校インタークラブ、敦賀西ロータリークラブ、敦賀海洋少年団、日本ボーイスカウト福井連盟敦賀第3団にも声をかけて実施した。		
事業結果	第1回目：9月6日（土） 計42名 敦賀RC会員（7名）、敦賀気比IAC（8名）、 敦賀西RC会員（1名）、敦賀海洋少年団（33名） 第2回目：3月14日（土） 計36名 敦賀RC会員（10名）、敦賀海洋少年団（26名） 第3回目：6月7日（日） 計20名 敦賀RC会員（11名）、敦賀気比IAC（9名）		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	20,000	円	
事業執行額	14,425	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中内絵美

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	気比の松原海岸清掃奉仕		
実施日	2026/5/23 (土)	「継続事業の場合」	3 年
実施場所	気比の松原海岸		
協力団体	なし		
参加人数	会員 8 名	→ 会員参加率	57.14 %
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	毎年恒例となります気比の松原の清掃です。 釣り客や毎日散歩する方も多く地元でも愛される場所の一つとなっております。 観光に来てくれる方にも良い思い出となり、また来たいと思っていただけるようゴミ拾い活動が続けております。		
事業結果	早朝8時よりスタート この日も浜には釣り客が沢山おりましたので、松林のウォーキングコースのゴミを拾い集めました。地元の方にご苦労さんと声をかけていただき、すれ違う方と挨拶しながら進めていきました。 天気も程よく、40分程で沢山のゴミを集める事ができました。 ご協力ありがとうございました！		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	20,000	円	
事業執行額	437	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中内絵美

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	金ヶ崎緑地公園の清掃奉仕		
実施日	2026/4/25 (土)	「継続事業の場合」	年
実施場所	金ヶ崎緑地公園		
協力団体	なし		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率 71.43 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	敦賀港を一瞥できる海沿いの公園で、夕陽・ライトアップなど港町の風景が楽しめる場所です。 イベントも開催されており、人と動物の散歩コースとしても、人気の場所ですので今回新たに清掃奉仕活動をさせていただきます。		
事業結果	早朝8時よりスタート 各自が軍手にゴミ袋とトングを持ち、緑地の周りのゴミを拾い集めました。 思ったよりゴミは少なかったですが、茂みの中や歩道の隅まできれいに清掃しました。 天気にも恵まれ、皆さん怪我もなく無事に終える事ができました。 ご協力ありがとうございました！		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	20,000	円	
事業執行額	272	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		藤本 勲
担 当 委 員 会 名		社会・職業奉仕委員会

事業名	歳末防犯・防火に対する慰労と激励会		
実施日	2025年12月2日(火)	継続事業の場合	30 年
実施場所	小浜警察署・若狭消防本部		
協力団体	単独継続事業		
参加人数	会員 4 名	会員参加率	26.67 %
	市民 約50 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地域住民の皆さまの安心安全を守っていただく小浜警察署さんと若狭消防署さんに日頃の感謝を込めて、歳末の慌ただしくなる時期にカップ麺の贈呈を行った。		
事業結果	橋本会長、藤本周次幹事、藤本勲奉仕プロジェクト委員長、早川公共イメージ委員長の4人にて今年度も贈呈いたしました。 		
新聞、TV等での報道	会長より小浜警察署署長と消防署署長へ目録寄贈と激励挨拶の様子を、地域のケーブルテレビ(チャンネル0)さんにて放送されました。 クラブの社会奉仕活動の周知を図ることが出来ました。 福井新聞さんにも掲載いただきました。		
事業予算	40,000	円	
事業執行額	40,306	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

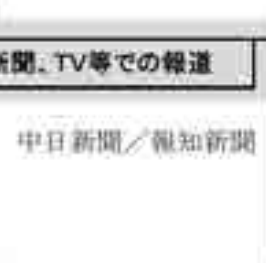
報告者	役 職	奉仕プロジェクト委員長
氏 名		藤本 勲
担当委員会名		社会・職業奉仕委員会

事業名	小浜白鳥海岸清掃				
実施日	2026年6月7日（日）	継続事業の場合	30	年	
実施場所	白鳥海岸付近				
協力団体	単独事業				
参加人数	会員	8	名	→ 会員参加率	53.33 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	今年度はフジテレビ月9ドラマ撮影も小浜であり「人魚の像」の設置してある白鳥海岸には多くの観光客の方々にお越しいただいております。海水浴として地元の方はもちろん、観光客の方々も楽しめる浜辺に海ゴミを少しでも清掃し、楽しい時間を過ごしていただけるように、毎年福井県下にて開催の「クリーンアップ大作戦」にクラブとしても参加しております。				
事業結果	地元の宝である海岸の環境保全として有意義な活動となりました				
新聞、TV等での報道					
事業予算	2,000	円			
事業執行額	1,659	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		徳山真也
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	七夕飾り寄贈				
実施日	2025年6月28日～2026年7月12日		継続事業の場合	18	年
実施場所	近江八幡市立総合医療センター				
協力団体					
参加人数	会員	53	名	→ 会員参加率	82 %
	市民	多数	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	短冊に、入院・来院患者さんやご家族、また医療従事者の方々へ向けた励ましや願い事を記し、心の癒しや励みにしていただく事を本事業の目的とします。				
事業結果	当クラブメンバーにも短冊に願いを記してもらい、事前にご記入いただいた医療従事者の短冊とともに事前飾りつけを行い同センターに設置・寄贈を行うと、この期間内に患者様・ご家族からも続々と願いを綴った短冊が1500枚を超える規模となり、患者様や医療従事者様に少なからずとも心のよりどころになれたのではないかと思います。また、事業最終日（撤収時）には佐橋会員（願善寺）にてご祈禱を行っていただき、皆様の祈願成就が叶いますようお祈りをさせていただきました。社会奉仕委員会メンバーをはじめ多くの有志メンバーには、設営から撤去までご協力いただいたことに感謝いたします。				
   					
新聞、TV等での報道	報知新聞  				
事業予算	32,000	円			
事業執行額	28,348	円			
この事業の主な財源	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		徳山真也
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	JR近江八幡駅前北口広場イルミネーション飾り事業				
実施日	2025年11月22日～2026年1月30日		継続事業の場合	11	年
実施場所	JR近江八幡駅前北口広場				
協力団体	ヴォーリス学園インターアクトクラブ				
参加人数	会員	40	名	→ 会員参加率	71 %
	市民	多数	名		
	その他	近江兄弟社高校吹奏楽部			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	(事業目的) 駅前広場でイルミネーション飾りを行い、地域活性化を目指す。 (事業内容) 本年度はヴォーリス学園インターアクトクラブの生徒たちが、「夢」をテーマにデザインし、びわ湖八幡ロータリークラブと共に企画・作成を行いました。				
事業結果	たくさんのインターアクト生やクラブメンバーに参加していただき当日の飾り付けだけでなく事前準備から一緒に作業し交流も深まったと思います。点灯式では電飾に包まれながらヴォーリス学園の吹奏楽部による演奏でより駅前を飾る事ができました。地域の方も「毎年楽しみにしている」「綺麗で嬉しい」などのお声を頂き事業目的の地域活性化に繋がったと思います。また今年も近江八幡市長にご参加いただき恒例事業としての認識も向上したと思います。				
新聞、TV等での報道	       				
事業予算	700,000	円			
事業執行額	653,497	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員会委員長
氏 名		西 崎 彰
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	献血運動		
実施日	2026年5月18日	1.継続事業の場合	45 年
実施場所	アズイン 東近江能登川駅前		
協力団体	三重県赤十字血液センター		
参加人数	会員 15 名	会員参加率 40 %	
	市民 40 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	〈目的〉 献血者は少なく、血液が大変不足しているため実施する。 〈内容〉 赤十字血液センターの協力事業として、クラブ創立当時から実施している。折込チラシやInstagramで告知し、献血に協力して頂く。また、会員も献血に協力する。来て頂いた方に骨髓バンクへのドナー登録のお声がけをする。		
事業結果	総受付者数：40名（献血者数：35名 不採血者数：4名） 多くの方にご協力いただきました。 「けんけつちゃん」も登場し、献血運動のPRを行いました。   		
新聞、TV等での報道	新聞折り込みで宣伝をする。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	43,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		小嶋 大記
担当委員会名		社会・青少年奉仕委員会

事業名	未来につなげる支援の「お」		
実施日	2025年8月20日から2026年5月31日	1 継続事業の場合	2 年
実施場所	滋賀県東近江市八日市町12 太子ホール		
協力団体	おてんとさん、八日市南高校		
参加人数	会員 35 名	会員参加率 85 %	
	市民 10 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	子ども食堂の周知により、支援者や支援企業を増やし、食堂にやってくる子供たちへ安心できる場所を決まった曜日に必ず提供できるよう、おてんとさんの活動を応援する。そのため食堂で使用する電化製品の一部を提供、食材の支援、食堂でのイベント開催を高校生ボランティアに協力要請した。		
事業結果	前年度事業にて設けたキッチンスペースを活用し、地元高校生と共同で子ども食堂の企画開催をし、より多くの地域住民に子ども食堂の存在意義を訴えられた。 また、子ども食堂開催の維持継続により、地域の子どもたちとご家族の支援、埋もれている支援対象児やご家族へ目を配ることができた。   		
新聞、TV等での報道	滋賀報知新聞、スマイルネット		
事業予算	694,490	円	
事業執行額	694,490	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 大館 康伸

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	「フリースクールに通う子供 学生を対象としたびわ湖岸清掃 クルージング体験およびヨットスクール支援」事業		
実施日	25/7/21 他	継続事業の場合	年
実施場所	びわ湖岸 小松原		
協力団体	彦根セーリング協会 てだのふぁ 滋賀県立大学 近江高等学校		
参加人数	会員 40 名	会員参加率 80 %	
	市民 100 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	(事業目的) 彦根に暮らす青少年にヨットを通じてびわ湖に親しんでもらう (事業内容) ①7/21 海の日に今回フリースクール「てだのふぁ」の子ども達と地元の大学生・高校生と協力しびわ湖清掃及びヨット競技関係者にご協力をいただきヨットクルージング体験の実施 ②彦根市民がヨットを親しむ拠点作りをおこない、少年ヨット教室の開催(年間20回)支援		
事業結果	①びわ湖岸清掃 クルージング体験 当日晴天にも恵まれ、子供・学生・関係者・ロータリーメンバーに参加していただき、盛況の中、事業を行うことができました。		
	②ヨット教室開催 彦根市広報にて参加者を募り、教室を開催することができました。 2025年8月3日(日)より20回実施 (実施の様子)写真貼付		
新聞、TV等での報道	  		
	ケーブルテレビ: ZTV しが彦根新聞 彦根文化新聞		
事業予算	820,000	円	
事業執行額	820,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		尾崎 雄
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	わたSHIGA輝く国スポ・障スポを盛り上げる彦根駅西口往巻看板設置事業		
実施日	2025年8月1日～2025年10月31日	継続事業の場合	年
実施場所	JR彦根駅西口		
協力団体	彦根市スポーツ部		
参加人数	会員 54 名	会員参加率 100 %	
	市民 名		
	その他 25,000名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

46年ぶりに滋賀県で開催される「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」において、メイン会場の一つである彦根市を訪れる選手・大会関係者・観戦客を歓迎するとともに、大会開催の機運醸成と地域の一体感の向上を図ることを目的として実施した。

クラブ内に準備委員会を設置し、歓迎事業について協議を重ねた結果、来訪者の多いJR彦根駅西口への往巻看板設置を決定した。彦根市と連携しながらデザインや設置場所の調整を行い、歓迎メッセージを掲載した往巻看板を制作・設置した。

事業結果

JR彦根駅西口という多くの人々が利用する場所に看板を設置することで、大会開催の周知と歓迎ムードの醸成に寄与することができた。また、全国から訪れた選手・関係者・観戦客に対して地域を挙げて歓迎する姿勢を示すことができ、地域住民の大会への関心向上にもつながった。



事業予算	1,020,380	円
事業執行額	1,020,380	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		平井 陽介
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	第16回 甲賀市ユースプラスフェスティバル		
実施日	2026年5月31日(日)	1 継続事業の場合	16 年
実施場所	あいこうか市民ホール		
協力団体	甲賀市・甲賀市教育委員会		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 72 %	
	市民 450 名		
	その他 250名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	今年で16回目を迎える。甲賀市と日野町の中学生吹奏楽部の演奏会です。甲賀市と日野町と合同で行うことで、学校や地域を超えた交流の場の一助になっております。今回は甲賀ロータリークラブの青少年奉仕事業と共同開催としました。 1部では地域の中学生吹奏楽部による各学校の演奏会を行いました。 2部では青少年奉仕事業として京都橘高校吹奏楽部による演奏を見て頂きました。		
事業結果	1部では、日頃の努力の発表の場として、各学校・子供たちが素晴らしい演奏を披露されました。緊張しながら演奏している姿、やり遂げた後の笑顔を見たときに子供達の成長を感じることができました。青少年奉仕事業と共同開催した2部では、京都橘高校吹奏楽部にお越し頂きました。 音楽に真摯に取り組む姿勢、意識を見て頂くことで、子供たちの音楽への興味がさらに高まり、次へのステップを生み出す力を育むことができました。 京都橘高校吹奏楽部をみつめる中学生吹奏楽部の皆さんの目の輝きから、これからの更なる伸びしろを期待することができました。今後、音楽と若い力を通じて地域に活力を与えてくれると確信しました。		
	 		
新聞、TV等での報道	ケーブルテレビあいコムこうか		
事業予算	200,000	円	
事業執行額	200,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 田中憲司
担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	国スポおもてなし事業		
実施日	令和7年9月29日（月）	継続事業の場合	年
実施場所	湖南市総合体育館 駐車場付近		
協力団体			
参加人数	会員 28 名	会員参加率 63.6 %	
	市民 200 名		
	その他 200		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	湖南市で開催される国スポ剣道競技のおもてなし事業として、参加いただく選手や、選手の応援でお越しいただく全国の方々に、湖南市の魅力を感じていただき、湖南市をより知っていただくとともに、お越しいただいた子どもたちを対象にした栄養指導を実施することで、食育による健全な青少年育成を実施します。また、メンバーの家族や従業員まで参画できる事業とし、ロータリーの理解を深めていただく機会としたい。 ・足湯（十二坊温泉の湯）：観光資源のPR ・飲食ブース（ご当地おにぎりなど）：食のPR ・石部宿の茶屋のようなブース ・湖南三山などの観光紹介：観光協会協力 ・子どもたちを対象とした栄養士による食の栄養指導：体型計画・スポーツトレーナー		
事業結果	湖南市で開催されました国スポ剣道競技のおもてなし事業として実施。お越しいただいた全国の方々に、湖南市の魅力を伝え、より知っていただく機会となりました。また、スポーツトレーナーによる健康指導を実施することで、健全な青少年育成につなげてまいりました。 【実施内容】 ・足湯（十二坊温泉のPR）：観光資源のPR ・飲食ブース（おにぎりなど）：食のPR ・石部宿の茶屋をイメージしたブース ・湖南三山などの観光紹介：観光協会協力 ・スポーツトレーナーによる健康指導 ：体型計画・健康指導		
新聞、TV等での報道	宮賀町のテレビ局ひわ湖放送の取材と、地元ケーブルテレビあいコムこうかの取材をしていただきました。主に、足湯のブースに選手や応援に来ていただいた方々が入っていただいているシーンを撮影いただきました。		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	873,500	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名	辻 典子	
担当委員会名	社会奉仕委員長	

事業名	フラワーボックスの生花提供事業		
実施日	通年	1.継続事業の場合 55年・31 年	
実施場所	JR草津駅・JR南草津駅		
協力団体	草津市花道協会・光泉カトリック中学・高等学校		
参加人数	会員 名	会員参加率	%
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	駅利用者に憩いの場を提供することを目的とし、草津市花道協会、光泉カトリック中学・高等学校のご協力のもと、季節の生け花や作品の展示を行っています。		
事業結果	昨年度、草津駅設置のフラワーボックスが破損するというアクシデントがありましたが、それを機にボックスの修繕・塗り替えをし装いも新たに、駅利用者に憩いとくつろぎを提供しています。 この事業は50年以上継続されている事業で、私自身も子供の頃からこの草津駅のフラワーボックスの展示には慣れ親しんできました。長年地域に根差した奉仕活動をされてきた皆様に感謝の気持ちを込めて、この事業を次の世代に引き継ぎたいと思います。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	150,000	円	
事業執行額	125,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		下村 一郎
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	ごみゼロ(530)大作戦		
実施日	2026年5月30日	1.継続事業の場合	年
実施場所	木浜湖岸周辺		
協力団体	守山市ごみ・水環境問題市民会議		
参加人数	会員 8 名	会員参加率 10 %	
	市民 234 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	5月30日「ごみゼロの日」に行われた、木浜湖岸周辺の路上ごみの清掃活動を行いました。 これは「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例（クリーン条例）」により、環境美化の日として設定されている。5月30日（ごみゼロの日）、7月1日（びわ湖の日）、12月1日（県下一斉清掃の日）のうちのの一つとして実施され、湖岸における散在性ごみの一掃を図るために開催されました。 内容としましては、市で対象に定められている区域のごみ拾い清掃です。		
事業結果	当日集まったクラブメンバー8名で、湖岸のごみを歩いて収集を行いました。 メンバー以外にも多数の参加者がおられた事もあり、終了時には、始める前に見た景色からは、想像できないくらいに多くのごみが回収されました。 		
新聞、TV等での報道	京都新聞にクラブメンバーの表記ではなく、会社役員としてメンバーとそのお子さんが記事として掲載されていました。		
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		下村 一郎
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	ポリオデー IN 森フェス		
実施日	2026年5月24日	1.継続事業の場合	4 年
実施場所	びわこ地球市民の森		
協力団体	びわこ地球市民の森2026実行委員会、滋賀県、守山市、(株)みらいもりやま21		
参加人数	会員 19 名	会員参加率 38 %	
	市民 3300 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	『広げよう、育てよう みどりの輪』をメインテーマに開催される「びわこ地球市民の森のつどい」の趣旨に賛同し、市民との交流、公共イメージの向上に資するものとして、守山ロータリークラブの社会奉仕活動の一環として、森を楽しむイベントの一つである「高所作業車体験」の運営に協力します。 更に、体験ブースにロータリーのポリオ撲滅活動のパネル展示を行い、一般市民へのロータリークラブの公共イメージの向上と、募金活動を通じてポリオ撲滅活動への理解と協力を図ります。		
事業結果	お天気に恵まれ、早朝より沢山の方が会場を訪れていました。 当クラブが担当する高所作業車体験は、例年行列ができる人気ブースですが、今年は来場者が上手くばらけてくださり、長蛇になることなく、かつ列が途切れることなく、多くの方楽しんでいただくことが出来ました。 体験後に、パネル横で景品(シャボン玉)を渡すことで、体験者、特に子供連れの保護者の方が熱心にパネルを見てくださり、ほぼ全ての方が募金に協力をしてくださいました。 お陰様で、7,705円の募金が集まり、ポリオブラスに送金することが出来ました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	84,000	円	
事業執行額	56,614	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員会 委員長
氏 名	中村 彰	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	長浜東ロータリークラブ創立50周年記念事業「未来に咲く平和の桜プロジェクト」		
実施日	2025年11月22日土曜日	継続事業の場合	年
実施場所	長浜市「臨湖」長浜市「豊公園」		
協力団体	長浜市、米原市、長浜市教育委員会、米原市教育委員会		
参加人数	会員 47 名	会員参加率 81 %	
	市民 100 名		
	その他 講師松井氏1名 事務局1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	長浜市の歴史ある豊公園は、琵琶湖と伊吹山に囲まれた美しい自然環境の中に位置し、現在、新たな公園として生まれ変わる整備が進められています。この機会に長浜東ロータリークラブは、長浜市、米原市の小学生4年生から6年生とその保護者を対象に「神代曙桜」の記念植樹を実施しました。本事業を通して子どもたちに自然や環境保全の重要性を伝え、郷土愛を育む機会を提供することを目的としました。また、長浜東ロータリークラブ創立50周年記念事業と記念植樹を共に行い、地域の活性化を促進し、世代を超えた交流を深める場を創出することで、持続可能な地域づくりに貢献しました。		
事業結果	当日は、子ども64名、保護者42名、会員47名の計153名が参加し、地域一体となった事業となりました。 また、松井章泰氏による基調講演ならびに長浜市職員による豊公園の将来整備に関する講演を実施し、今後の地域づくりに対する理解を深める機会となりました。 植樹した「神代曙桜」は、今後の豊公園整備において重要な役割を担うものであり、地域の子どもたちと大人が共に植樹を行うことで、地域愛の醸成および地域への関心向上につながったと考えております。		
新聞、TV等での報道	京都新聞（デジタル）、 中日新聞、滋賀夕刊 記事掲載。		
事業予算	2,609,620	円	
事業執行額	2,609,620	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	委員長
氏 名	萩原 英樹	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	みんなでつなぐエコ奉仕 〜のぼり旗からナップサックへ〜		
実施日	2025年7月〜2026年3月	継続事業の場合	年
実施場所	長浜市内、旧伊香・旧東浅井地区		
協力団体	長浜市教育委員会、長浜市内（旧伊香・旧東浅井）小学校		
参加人数	会員 30 名	→ 会員参加率 100 %	
	市民 430 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地域資源の再活用と福祉支援、また子どもたちの学びをつなぐ社会奉仕活動を目指しました。具体的には地域のイベントなどで役目を終えた「のぼり旗」を回収し、障がいのある方々が働く作業所でナップサックへと再生。完成したナップサックは、長浜市内旧伊香・旧東浅井地区の小学校4年生の児童へ寄贈しました。 この取り組みは環境（リサイクル）・福祉（就労支援）・教育（社会学習）を同時に実現する、循環型の奉仕活動として今後も続けていく予定です。		
事業結果	2026年2月下旬から全会員で手分けして各小学校を訪問。ナップサックを受け取った子どもたちに、この活動の背景や作業所での仕事について知ってもらうための説明動画をYouTubeにアップし、そのURLをQRコード化した資料を添えることにより、学校でも家庭でも視聴していただけるようにしました。また、今後の活動をより良いものにするため、教諭および児童の皆様にGoogleフォームでのアンケートを実施しました。アンケート結果は今後当クラブの奉仕活動に活かしていきたいと思っています。		
新聞、TV等での報道	  2026年3月6日(金)中日新聞「びわ湖版」掲載		
事業予算	327,000	円	
事業執行額	348,248	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

社会奉仕部門事業報告書

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		乾 哲典
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	北ノ庄沢の清掃		
実施日	2026年5月31日	継続事業の場合	24年
実施場所	近江八幡市北ノ庄町 北ノ庄沢付近		
協力団体	RCC（ロータリー地域社会共同隊） 北ノ庄沢を守る会		
参加人数	会員 15 名	会員参加率 40 %	
	市民 13 名		
	その他 北ノ庄沢を守る会		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	北之庄沢を含む近江八幡の水郷が国の重要文化的景観第1号として指定されています。「北之庄沢を守る会」は平成12年北之庄町の有志で設立され、ゴミ収集を始め自然豊かな沢にするための活動を行っています。2004年には、当クラブと共同でロータリー地域社会共同隊（RCC）「北之庄沢を守る会」を設立し、当クラブも活動の清掃活動のお手伝いをさせていただいています。 近江八幡ロータリー社会奉仕協同隊（RCC）は2004年2月18日に設立総会を開催し、その後5年間を期限として「北ノ庄沢を守る会」と「近江八幡ロータリークラブ」が共同して水郷地帯の環境保全活動を実施し、今後も継続事業として活動をして行くこととしています。		
事業結果	北ノ庄沢を船の上からゴミ集め、と徒歩でゴミ集め、また沢の周りの除草作業などを行いました。 北ノ庄沢を守る会の皆さん地域住民の方、近隣の事業所の方と一緒に作業を行いました。		
			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名		坂口昌弘
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	未来に生かす地域振興事業		
実施日	事業11月1日～1月31日 ツアー実施日3月21日 継続事業の場合 年		
実施場所	義仲寺、幻住庵		
協力団体	大津市、大津市教育委員会、大津の京阪電車を愛する会、幻住庵保勝会		
参加人数	15 名 会員参加率 12.3 %		
	市民 820 名		
	その他 市外投句者 216名 俳句学識経験者 2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	大津市は、豊かな自然環境と数多くの歴史文化遺産に恵まれ、松尾芭蕉ともゆかりの深い地域です。これらの文化遺産を活用し、中学生・高校生が地域の歴史や自然への理解を深めるとともに、豊かな感性と想像力を育むことを目的として実施しました。 具体的には、俳句コンクールを開催し、若い世代が自らの視点で地域の魅力を表現する機会を提供しました。さらに、入遊者を対象に芭蕉ゆかりの地である義仲寺および幻住庵を訪ねる「芭蕉をめぐるツアー」を実施し、芭蕉の足跡や作品に触れる機会を設けました。これらの事業を通じて、大津市の魅力発信と地域の活性化に寄与する事を目指しました。		
事業結果	俳句コンクール 応募総数 1,042句 内 大津市外（県外含む） 216句 入遊作 中学生の部 10句 高校生の部 10句 俳句コンクールには市内外の中学生・高校生から多数の応募があり、俳句の創作を通じて、大津市の豊かな自然や歴史文化、そして、松尾芭蕉に対する理解を深めることが出来ました。本事業を通じて、参加した生徒たちの大津の地域に対する理解と愛着が深まり、郷土の歴史文化を次世代へ継承する意識の醸成に繋がりました。大津ロータリークラブの社会奉仕事業として、地域の文化振興と青少年育成に寄与するとともに、大津市の魅力を広く発信する機会となりました。 表彰式  義仲寺にて 		
新聞、TV等での報道	びわ湖放送 「金曜オモロしが」 NHK 「おうみろ30」 京都新聞 		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	765,372	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 会長
氏 名 : 山本 進一
担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	「豊かで美しい琵琶湖を未来へつなぐプロジェクト」～自然と共生する社会に向けて		
実施日	2025.10.26～2026.3.15	継続事業の場合	年
実施場所	大津市立平野小学校、学習館メグミ号、滋賀県立琵琶湖博物館、大津港ターミナル（待合室）		
協力団体	滋賀県（後援）、琵琶湖博物館、大津市立平野小学校、大津市平野学区自治連合会、大津市平野学区青少年育成学区民会議		
参加人数	会員 17 名	会員参加率	81 %
	市民 2271 名		
	その他 小学生1,089人、観光客約2,000人		

事業分野 ☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他

事業目的及び事業内容

琵琶湖の水環境や水辺の生物に関心を持ってもらうため、次代を担う子供たちを対象に琵琶湖にふれて湖上や琵琶湖博物館で環境学習を行うと共に、琵琶湖に住む多くの在来魚(61種類)を知ってもらう事を目的に、学校や地域イベントなどの子供たちが集う場所に出向いて行う移動水族館を「水のない水族館」と銘打って開催した。また、40周年記念事業で設置した「BIWAKOモニュメント」のある琵琶湖の玄関口・大津港において、その一周を記念して「水のない水族館」を展開し、より多くの人達に親近してもらい、国民的資産と位置付けられた琵琶湖の大切さを発信した。

事業結果

滋賀県の後援を得て琵琶湖環境部と琵琶湖博物館の協力のもと環境学習を行うと共に、このプロジェクトが今、県が取り組んでいる琵琶湖版SDGスマーズ・ネットワークに合致することから「SDG」ロゴマークの使用許可など支援いただいた。また、エコスタール活動として地元の大津市立平野小学校とその学区の自治連合会や青少年育成学区民会議、まちづくり協議会などと連携して実施できた。



新聞、TV等での報道

・「水のない水族館」が京都新聞の3月13日（金）朝刊に琵琶湖魚多様な生態系伝える記事が掲載された。

・「水のない水族館」が第71回びわ湖開きのリーフレットで紹介される。



事業予算	総予算額：805,000円	円
事業執行額	総支出額：323,600円	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	会長
氏 名	中森康徳	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	ロータリークラブ情報発信YouTube番組 びわモニ・ロータリーDAY		
実施日	2025/9/17～2026/5/27の間 5回放送	1 継続事業の場合	年
実施場所	大津市JR石山駅前 スタジオユーストンより生配信		
協力団体	ユーストン、大津RC、大津中央RCをはじめ滋賀県下RC多数など様々な団体		
参加人数	会員	のべ21 名	—— 会員参加率 80 %
	市民	11 名	
	その他	滋賀県下ロータリアン等	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

ロータリークラブの素晴らしい活動を広く一般の方々に知っていただくためのYouTube番組を2025年9月から5回にわたって制作・配信。「ロータリーを知ろう」のコーナーでロータリークラブがどのような団体なのかを知っていただくことをはじめ、今年度に滋賀県下RCで行われる「奉仕事業の紹介」、大津東RC会員による職業奉仕を活かした「プロが解説する耳より情報」、社会奉仕の一環として、滋賀県内で様々な活動をしている団体などに出演していただくコーナーなどを設け、1回の放送で約90分間にわたって情報発信を行いました。

事業結果

ロータリークラブを知らない一般の方々に向けて、少しでもロータリークラブを知っていただく機にとなったと思われる。滋賀県下の多数のクラブのロータリアンが地域貢献として行っている奉仕事業を紹介することで、ロータリークラブが長い年月にわたって自分たちの地域に奉仕を行っていることを知っていただくことができた。また滋賀県内の様々な団体の活動をPRできたことで、彼らの活動の認知向上と活動の励みに貢献できたと思われる。さらにこの番組は現在もアーカイブで視聴することができ、ロータリーの公共イメージのアップにも貢献できたと思う。



新聞、TV等での報道

今回の奉仕事業自体を他のメディアで告知はできていませんが、そもそもこの番組自体が新しい時代のメディア発信であり、ロータリークラブもこのような発信を積極的に活用することも必要ではないかと考える。

事業予算	275,000	円
事業執行額	275,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		岸田 正治
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	御木西公園清掃		
実施日	2026年4月2日	継続事業の場合	40年以上年
実施場所	大津市御木の里1丁目		
協力団体	大津衛生社・志賀衛生社		
参加人数	会員 18 名	会員参加率	94.74 %
	市民 名		
	その他 業者3名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	毎年御木の里にある御木西公園の清掃事業を4月に実施しています。		
事業結果	30個近くのゴミ袋ができました。 全て衛生社さんのご協力のもと清掃車に収集して頂きました。 清掃後は落ち葉もなくきれいになりました。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	3,000	円	
事業執行額		円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 委員長

氏 名 南 新介

担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」活動プロジェクト		
実施日	通年	継続事業の場合	年
実施場所	栗東市内 地域クラブ活動		
協力団体	栗東青年会議所・栗東市スポーツ協会・栗東市文化協会・栗東市スポーツ少年団・栗東市教育委員会		
参加人数	会員	60 名	→ 会員参加率 100 %
	市民	69 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	近年、中学校教職員の働き方改革の推進に伴ない、中学部活動の廃部や休部が全国的に進んでおり、その結果スポーツや文化に取り組みたい生徒たちは、月謝等を負担しながら地域クラブや民間教室へ通うケースが増えているのが現状です。しかしながら、このような地域移行の実態や課題については、まだ十分に市民へ認識されているとは言えません。そこで、地域でボランティアとして活動されている指導者やクラブを支援を目的とした「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」を立上げ、将来に向けた持続可能な地域活動組織の構築を目指し、初期段階における人的・物的・資金的支援を行うことで、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組める環境づくりのサポートを行う。		
事業結果	栗東ロータリークラブを中心に、栗東青年会議所、栗東スポーツ協会、栗東市文化協会、栗東スポーツ少年団、栗東市教育委員会との協議、調整を重ね「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」を立ち上げた。その中心的役割は社会奉仕委員会が担い、地域一体となった支援体制の構築に努めた。 4月には、栗東市教育委員で現役教師による卓話を開催し、栗東市における中学校部活動の現状や、今後の地域移行の方向性について説明頂いた。また栗東ロータリークラブメンバーへの「栗東市中学生サポーターズクラブ」への入会を呼びかけた結果、多くの会員が賛同・入会し地域全体で子どもたちを支える支援の輪を広げることができた。 さらに栗東市内の3つのスポーツクラブに対して物的支援を実施し、活動環境の充実に寄与するとともに、地域クラブ関係者への心の支援にもつながる有意義な活動となった。		
新聞、TV等での報道	 		
	6/23日 栗東市役所にて「栗東市中学生地域サポーターズクラブ」設立の記者発表を実施致します。京都新聞、マスコミ他 来所予定です。		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	766,384	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員会 委員長
氏 名	高橋賢一	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	高島の『食』を育て、『居場所』を守り、『笑顔』を作る。		
実施日	2025年8月～11月	継続事業の場合	年
実施場所	高島市鹿ヶ瀬地区および新旭ショッピングセンターエスパ他		
協力団体	高島市中溝宮農組合、高島市社会福祉協議会、新旭駅前ふれあい食堂実行委員会、市内保育園		
参加人数	会員 41 名	会員参加率 80 %	
	市民 約400 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

耕作放棄地の有効活用を実施されている宮農組合の方々や、住民の居場所づくりに尽力している方々と共に「食べる事は生きること」を学び、子供たちに農業体験を通じて食育を、そして収穫したお米を市内で居場所づくり活動をされている団体すべてに提供して、この地域の豊かさを感じてもらふことを目的とする。

また、新旭駅前ショッピングセンターエスパにてボランティア団体が主催し、毎月開催されている「ふれあい食堂」ではかき米を来場者に振る舞いロータリークラブの公共イメージ向上を図る。

事業結果



農業体験を通じて農業の大切さ大変さを感じてもらえたと思う。また、収穫したお米を高島社会福祉協議会を通じて市内の「子供食堂」や「ふれあい食堂」に提供したことや、新旭駅前「ふれあい食堂」でのかき米の提供によりロータリークラブの公共イメージが向上したと思われるし、我々ロータリアンもボランティア活動をしている方々や団体に対する敬意が更に深まった。

新聞、TV等での報道

新聞折込チラシに「Takashima Rotary Club News」として高島市民に配布

事業予算	941,010	円
事業執行額	941,010	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名	奥野 孝史	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	活動エリア除草作業		
実施日	11月 6月	1 継続事業の場合	年
実施場所	市内3か所		
協力団体	なし		
参加人数	会員 20 名	—— 会員参加率 70 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	活動エリアの景観および地域環境の整備を目的として、過去野洲ロータリークラブが寄贈されたモニュメント3か所周辺の除草作業を行いました。また、ロータリーロゴの入ったユニフォームを全員が着ることで、3か所同時にPRできました。		
事業結果	毎年のことではあるが、続けていることで、ロータリーの認知がアップしております。ロゴを見せることも大事だと思います。もちろん、景観も良くなり、まちはきれいになりました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	10,000	円	
事業執行額	14,610	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名		奥野 孝史
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	活動エリア除草作業		
実施日	6月 7月	1 継続事業の場合	年
実施場所	市内3か所		
協力団体	なし		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 42 96	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	年度2回目の除草作業奉仕になります。活動エリアの景観および地域環境の整備を行いました。今回は、草はもちろん、伸びきった木の枝をはらい更に景観が良くなりました。寄贈モニュメントの3か所もすっきり見えるようになりました。また、ロータリーロゴの入ったユニフォームを全員が着ることで、3か所同時にPRできました。		
事業結果	毎年のことではあるが、続けていることで、ロータリーの認知がアップしております。ロゴを見せることも大事だと思います。もちろん、景観も良くなり、まちはきれいになりました。     		
新聞、TV等での			
事業予算	10,000	円	
事業執行額	14,810	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	喜多 良道	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	ラチーノ学院 植造成事業		
実施日	2025年 11月 12日	1 継続事業の場合	年
実施場所	ラチーノ学院		
協力団体	地元 甲斐郡自治会		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 55 %	
	市民 5 名		
	その他 ラチーノ学院 生徒 200名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ラチーノ学院は準学校法人であるため、学校給食制度の対象とならず、給食に必要な食材等を自ら確保する必要があります。物価高騰が続く中にあっても、学院では生徒たちに栄養バランスの取れた充実した給食を提供できるよう、日々努力を重ねています。 そこで、給食のさらなる充実を図るため、野菜畑を整備し、学院関係者や生徒たちが自ら野菜の栽培・収穫に取り組むことで、新鮮な食材を給食に活用し、その充実を支援することを目的とします。		
事業結果	  約200名のブラジル人の生徒たちが、整備された畑で自ら栽培した野菜を朝食や昼食の給食として食べることができるようになります。食生活の安定と食育の推進に寄与することが期待されます。さらに、日本で栽培された野菜を味わうことを通じて、日本の食文化への理解を深めることにもつながります。加えて、地元農家の皆様との交流や協力関係を築くことで、ラチーノ学院と地域社会との結びつきがより一層強まり、多文化共生の推進にも大きく貢献するものと考えます。		
新聞、TV等での報道	読売新聞、中日新聞		
事業予算	1,305,738	円	
事業執行額	1,305,738	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	喜多 良道	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	「10年前の私からの手紙」事業		
実施日	2026年4月22日	1.継続事業の場合	年
実施場所	例会場		
協力団体	株式会社ワンビシアークイブズ関西センター		
参加人数	会員 名	会員参加率	%
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

10年前、創立20周年記念事業として、東近江市内22校の小学4年生1,196名を対象に、「10年後の自分へ」をテーマとした手紙作成事業を実施した。

本事業は、アナログ社会からデジタル社会への移行が進む中、手紙を書くという体験を通じて、自らの将来について考え、10年後の自分へ思いを託していただくことを目的として実施したものである。

作成された手紙は10年間保管し、創立30周年記念事業の一環として、2026年4月に成人を迎えた対象者へ発送した。

事業結果



対象者にとっては、小学4年生当時の自分自身の夢や希望、将来への思いを振り返るとともに、この10年間における自身の成長や社会環境の変化を見つめ直す機会となった。また、SNSをはじめとするデジタルコミュニケーションが急速に普及した現代において、手書きの手紙が持つ価値や意義を再認識する契機にもなった。

本事業は、過去の自分と現在の自分をつなぐ貴重な機会を提供するとともに、創立20周年から30周年へと受け継がれる継続的な記念事業として実施することができた。

新聞、TV等での報道

滋賀県知新聞 中日新聞

事業予算	172,284	円
事業執行額	172,284	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名	高多 良道	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	Consider Rotary ～一人ひとりが考えよう～ 社会奉仕事業の在り方について		
実施日	2025年10月1日から11月30日	「継続事業の場合」	年
実施場所	例会場		
協力団体			
参加人数	会員 45 名	会員参加率 100 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

会長所信に掲げる「原点回帰」と「未来進化」の考え方に基つき、当クラブの社会奉仕活動の在り方を見つめ直す機会として、創立30周年記念事業の一環として情報集会を開催した。今一度クラブの原点に立ち返り、これまでの歩みを振り返るとともに、将来に向けたクラブのあるべき姿、すなわち「未来進化」の姿を会員相互で議論することを目的としたものである。30周年という大きな節目を迎えたいま、あえて立ち止まり、先人たちが築いてきた歴史と伝統に思いを馳せながら、その成果をいかに未来へつなげていくかを考える機会とした。また、「自分はどのようなロータリアンでありたいのか」「私たちのクラブはどのようなクラブであるべきか」という本質的な問いについて、一人ひとりがじっくりと考え、語り合う場となり、会長所信の「Consider Rotary」を具現化するものであり、クラブのさらなる発展と未来への礎を築く周年事業を目指した。

事業結果

情報集会の開催にあたり、社会奉仕委員会において事前に進め方や討議テーマについて協議を重ね、会員がクラブの社会奉仕活動について多角的かつ本質的に考察できるよう論点を整理した。まず、社会奉仕活動を大きな視点から捉え、次のような根本的なテーマについて議論を行った。

【社会奉仕活動を大きく捉える視点】

- ① なぜ八日市南ロータリークラブは社会奉仕活動を行うのか。
 - ② どのような社会奉仕活動が地域社会に求められているのか。
 - ③ 社会奉仕活動は、地域社会にどのような価値をもたらす、実際に役立っているのか。
- 続いて、より具体的かつ分析的な視点から、今後の社会奉仕活動の方向性について検討を行った。

【社会奉仕活動を分析的に考える視点】

- ① 活動の対象は誰か。市民全体、各種団体、個人など、どこに支援の焦点を置くべきか。
- ② 活動期間はどの程度が望ましいか。単年度事業とするのか、継続的な事業として取り組むのか。
- ③ 活動の方法はどのようなものが適切か。物品寄贈、寄付金支援、会員自らが主体的に行動する活動、あるいは各種団体への支援など、どのような手法が効果的か。
- ④ これまで八日市南ロータリークラブが実施してきた社会奉仕活動の中で、今後も継承・発展させるべき事業は何か。

社会奉仕委員会委員が進行役となり意見交換し、討議内容は議事録として整理したうえで例会において発表し、会員全体で共有した。創立30周年という節目にあたり、これまでの社会奉仕活動を振り返るとともに、未来に向けた奉仕の在り方を考える貴重な機会となった。

事業予算	0 円
事業執行額	0 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他

報告者	役 職	幹事
氏 名	奥田 幸一	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕・青少年委員会	

事業名	「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録応援プロジェクト		
実施日	2026年4月12日	↑継続事業の場合	0 年
実施場所	国営飛鳥歴史公園 あすか風舞台		
協力団体	橿原市・桜井市・明日香村・近畿日本鉄道・JR西日本・世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」登録推進協議会・朝日新聞奈良総局・読売新聞社・毎日新聞奈良支局・読売新聞奈良支局・奈良新聞社		
参加人数	会員 40 名	→ 会員参加率	89 96
	市民 10000 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録を地域から応援する社会奉仕事業を企画しました。奈良県特産品「あすかるびー」のイチゴを使用し、世界遺産登録応援メッセージによるギネス世界記録への挑戦を行い、また、地元保育園児のお遊戯会や地元小学校ブラスバンド演奏、9台のキッチンカーによる飲食ブースの設置に加え、和太鼓演奏、マジックショー、バルーンパフォーマンスを実施し、多くの来場者が楽しめるイベントを企画しました。これにより世界遺産登録への機運醸成と地域活性化、青少年育成、地域貢献の推進を図ることを目的としました。		
事業結果	当日は晴天に恵まれ、国営飛鳥歴史公園「あすか風舞台」に地域住民および来場者合わせて10,600人以上が来場し、会場は終日賑わいを見せました。また、テレビや新聞等の報道機関による取材も多数あり、世界遺産登録に向けた地域の取組を広く発信する機会となりました。イベントでは、地元保育園児や小学生による発表、和太鼓演奏、マジックショー、バルーンパフォーマンスに加え、「いちごフェス」を開催し、幅広い世代の交流と地域活性化につながりました。さらに、あすかるびー3,613個を使用して「飛鳥・藤原の宮都」の文字を制作し、ギネス世界記録に認定されました。これにより、世界遺産登録への機運醸成、地域活性化、青少年育成及び地域貢献の推進につながりました。		
新聞、TV等での報道			
	奈良テレビ、NHKにて放映されたほか、ヤフーニュースに掲載され、さらに読売新聞、毎日新聞、奈良新聞などの各種新聞媒体および明日香村役場の広報紙にも取り上げられ、広く情報発信がなされました。		
事業予算	3,700,000	円	
事業執行額	3,200,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		宮倉 清幸
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	花咲寮への慰問事業		
実施日	2025年7月23日（水）	継続事業の場合	約50年
実施場所	五條市二見5丁目3番63号 養護老人ホーム花咲寮		
協力団体	ジュニアプラスバンド（奏（かなで））		
参加人数	会員 15名	→ 会員参加率	75%
	市民 80名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	養護老人ホーム花咲寮は、「経済的な理由」かつ「環境上の理由」により在宅での生活が困難な高齢者のための入所施設で、入所されている方が「自立して生活できる」「社会復帰できる」ことを目指し支援されています。そのような施設の中で、 ・故人（過去に花咲寮でお亡くなりになられた方々）の法要を目的として ・現在の入居者の方々に、楽しい時間のご提供を目的として ・ジュニアバンド奏の演奏機会の場を提供する機会として 事業を開催いたしました。		
事業結果	コロナの影響が長引く中で、7年ぶりのフル開催となりました。（6年間は御供と供花のみ）物故者の法要に続き、子どもたちの元気いっぱいの演奏を披露していただきました。 子どもたちの演奏と、温かいパフォーマンスの中、入居者の皆様からの笑顔があふれる1日となりました。 また、クラブ会員の参加やお手伝いもあり充実した内容になりました。また、様々なメディアにも取り上げていただき、クラブの公共イメージアップにつながりました。		
新聞、TV等での報道	県内新聞社数社、市内の広報誌にも掲載をしていただきました。		
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役 職	委員長
氏 名	尾上隆志	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	大和舞踊祭		
実施日	2026年3月8日（日）	1. 継続事業の場合	年
実施場所	奈良県橿原市小房町H-6 橿原市立かしはら万葉ホール「ロマンティックホール」		
協力団体	後援/橿原市、橿原市教育委員会 協力/橿原ローターアクトクラブ、橿原学院高等学校インターアクトクラブ		
参加人数	会員 28 名	会員参加率 50 %	
	市民 580 名		
	その他 HAU1名、RAC入会候補者3名、RC関係協力者（家族や友人）4名		
事業分野	☒ 1. 人間尊重 ☒ 2. 地域発展 ☐ 3. 環境保全 ☐ 4. 共同奉仕 ☐ 5. その他		
事業目的及び事業内容	県内在住の子どもたちを対象としたダンスコンテスト大会を開催した。部門を3つに分けることで、通常のダンス大会のコア層でない年齢層の子どもたちにも焦点を当てた。地域情報誌を活用し、参加者の記念となる冊子を作成すると共に、地域商店に設置されている当情報誌を入手するために、設置店に訪れるという地域経済活性化も狙った。開催場所である市民ホールの活用においては、来場者への飲食提供施設（設備）がないという課題があったことから、本事業をその試験的事業として開催することを市に提案し、今後の市民ホールの活用の汎用性を拡げる機会とした。		
事業結果	準備に約1年を費やし、念入りに予定を組んで開催まで進めることができた。開催にあたっては、会場の管理者である橿原市並びに橿原市教育委員会に、今までにない新たな取り組みを懇切説明し、前例のない取り組みに対しても、「橿原ロータリークラブが責任を持って実施事業の場としての前例を作らせて頂く」との思いにご決断頂けたことがありがたかった。参加申込数については、当初の予定より若干多くなったが、何とかプログラムを調整することで円滑に実施することができた。出場選手並びにそのご家族や友人、そして市民の方々にも当日はご来場頂き、盛況に終えることができた。また出場選手、特に受賞者が涙を流して喜んでいる姿は、主催した者にとっては大変うれしかった。同市RCやRACの活動内容をパネル掲示し、PRする場とできたことも良かった。		
新聞、TV等での報道			
なし	 		
事業予算	2,157,310	円	
事業執行額	2,263,535	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	秋吉将臣	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	おいでよ！収穫の夏		
実施日	2025年8月24日	1.継続事業の場合	2.年
実施場所	奈良市青少年野外活動センター		
協力団体	奈良市、天理市、フードバンク奈良、NPO奈良地域の学び推進機構、奈良ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 32 名	会員参加率 23 %	
	市民 110 名		
	その他 関係団体からの参加11名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

奈良ロータリークラブでは、ひとり親家庭の子どもたちに対し、夏休みの思い出づくりや自然体験の機会を提供するとともに、参加家庭同士の交流促進を目的として、「おいでよ！収穫の夏・子供の夏の思い出づくり」を実施した。

奈良市青少年野外活動センターにおいて、野菜収穫体験、木工クラフト、竹筒ごはんづくり、BBQ交流会等を実施し、親子が協力しながら体験を共有できる機会を創出した。また、フードバンク奈良や地域団体等と連携し、参加者同士が自然に交流できる地域交流事業として実施した。

事業結果

本事業を通じ、ひとり親家庭の親子に対し、自然体験や交流の機会を提供することができた。参加者からは、「親子で一緒に楽しめた」「普段できない体験ができた」「他の家庭とも交流でき安心感につながった」等の声が寄せられ、事業目的に沿った成果が得られた。

特に、収穫体験やBBQ交流会では、親子や参加家庭同士の会話が自然に生まれ、継続的なつながりづくりにもつながった。また、閉会式では親子でメッセージカードを交換する時間を設け、日頃伝えにくい感謝の気持ちを共有する機会となった。さらに、ロータリアンにとっても、地域団体と連携しながら奉仕活動を実践することで、地域との交流を深める機会となった。



新聞、TV等での報道

毎日新聞地方版 8月25日記事
<https://mainichi.jp/articles/20250825/dd1/k29/040/147000c>
 奈良テレビ放送 8月24日ニュース
<https://www.narabtv.co.jp/simweb/detail.html?la=6f6e724c306c6c638b50584c6370594c7332705c52113d3d>

事業予算	980,704	円
事業執行額	980,704	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名	秋吉祥臣	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	おいでよ！星空の冬		
実施日	2025年12月6日	継続事業の場合	年
実施場所	きつぷろ科学館ふおとん		
協力団体	奈良市、フードバンク奈良、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、奈良ロータリークラブ、奈良インターアクトクラブ		
参加人数	会員	20 名	→ 会員参加率 14 %
	市民	44 名	
	その他 関係団体からの参加16名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

奈良ロータリークラブでは、ひとり親家庭を中心とした親子に対し、冬休みの思い出づくりや科学体験の機会を提供するとともに、保護者同士の交流促進を目的として、「おいでよ！星空の冬」を実施した。

きつぷろ科学館ふおとんにおいて、親子での館内見学、プラネタリウム鑑賞、レーザーラボ見学等を実施し、親子で学びながら楽しめる機会を創出した。また、保護者交流会や家族懇親の時間を設け、参加家庭同士が自然に交流できる地域交流事業として実施した。

事業結果

本事業を通じ、ひとり親家庭を中心とした親子に対し、科学に触れる体験や交流の機会を提供することができた。参加者からは、「親子で楽しい時間を過ごせた」「子どもが科学に興味を持つきっかけになった」「保護者同士で交流でき安心感につながった」等の声が寄せられ、事業目的に沿った成果を得ることができた。

特に、保護者交流会や家族懇親の時間では、参加家庭同士の自然なコミュニケーションが生まれ、新たなつながりづくりにもつながった。また、ロータリアンにとっても、地域団体や施設関係者と連携しながら奉仕活動を実践することで、地域との交流を深める機会となった。



新聞、TV等での報道

奈良新聞記事 1月21日



事業予算	185,345	円
事業執行額	185,345	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	委員長
氏 名		秋吉 祥臣
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	おいでよ！共育の春		
実施日	2026年3月28日	1.継続事業の場合	年
実施場所	JUNOPARK		
協力団体	奈良市、積水ハウス株式会社、奈良ローターアクトクラブ、奈良インターアクトクラブ		
参加人数	会員 22 名	会員参加率 10 %	
	市民 114 名		
	その他 関係団体からの参加8名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	奈良ロータリークラブでは、ひとり親家庭を中心とした親子に対し、春休みの思い出づくりや体験型学習の機会を提供するとともに、参加家庭同士の交流促進を目的として、「おいでよ！共育の春」を実施した。 JUNOPARKにおいて、体験型アクティビティや体験ギャラリーを活用した自由探索型プログラムを実施し、親子が主体的に学び・体験できる機会を創出した。また、図書ゾーンやカフェゾーン等も活用しながら、参加家庭同士や関係者が自然に交流できる地域交流事業として実施した。		
事業結果	本事業を通じ、ひとり親家庭を中心とした親子に対し、体験型学習や交流の機会を提供することができた。参加者からは、「親子で一緒に楽しみながら学べた」「子どもが主体的に行動していた」「他の家庭とも自然に交流できた」等の声が寄せられ、事業目的に沿った成果を得ることができた。 特に、自由探索型のプログラムにより、参加者同士や親子間で自然なコミュニケーションが生まれ、継続的なつながりづくりにもつながった。また、ローターアクトクラブや施設関係者と連携しながら運営を行うことで、世代を超えた交流や地域との連携強化にも寄与した。		
新聞、TV等での報道	なし   		
事業予算	637,425	円	
事業執行額	637,425	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	幹事
氏 名		森本勝也
担 当 委 員 会 名		プログラム委員会

事業名	《つながる駄菓子屋》ふくふく堂 こどもの日イベント		
実施日	2026年5月2日	1 継続事業の場合	1 年
実施場所	ふくふく堂		
協力団体	NPO法人結の輪		
参加人数	会員 20 名	会員参加率 100 %	
	市民 229 名		
	その他 子ども193名 大人16名 会員20名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	奈良中央ロータリークラブが運営する《つながる駄菓子屋》ふくふく堂では各季節毎にイベントを開催しています。地域の子どもたちやそのご家族との交流を目的としました。		
事業結果	2025/ 7/25～8/24 宿題大作戦 2025/10/31 ふくふくハロウィンデー 2025/12/20 クリスマス楽しみます会 2026/02/03 節分イベント 2026/05/02 こどもの日まつり 結果、継続してふくふく堂を訪れてくれる子どもたちも増え、地域とのつながりの広がりを実感することができました。 本年度の活動を支えてくださった会員の皆様にもより感謝申し上げます。次年度も引き続き、会員と地域の子どもたちが楽しく交流し、活気あふれる地域づくりが進められることを願っております。    		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	河口昌司	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	献血啓蒙活動		
実施日	2026年3月18日	1.継続事業の場合	年
実施場所	近鉄奈良駅献血ルーム前		
協力団体	無し		
参加人数	会員 12 名 市民 名 その他	会員参加率 52 %	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
献血啓蒙活動。 ノベルティの補助を用意する事、および駅前での勧誘活動により献血の啓蒙活動及び、活動時間中の食事を共にすることで親睦を深める一助とする。  			
事業結果			
当クラブで用意した食パンが講評であったのか、早い時間（午前中）にセンターの予約枠が一杯となり、その後は献血啓蒙のためのティッシュ配布を行うこととなった。予約が埋まりにくいとあらかじめ聞いていた平日の実施であったが、早めに活動を切り上げる事となった。 ノベルティの良し悪しにより他日をキャンセルして当日へ参加された方がいたのかもしれないとの予測もあり、本来の目的に沿ったさらなる工夫が必要と感じた。 当クラブのような人員及び予算の厳しい中では実施が比較的容易な活動であるが、しっかり結果を実感できる活動になるように検討を重ねたい。			
新聞、TV等での報道			
献血センター作成のチラシ及びHPにて案内			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	35,640	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	委員長
氏 名	丸山佳映	
担当委員会名	社会奉仕委員会	

事業名	社会福祉法人 中川会のクリスマス会への協賛、参加活動		
実施日	2025年12月21日	継続事業の場合	20 年
実施場所	社会福祉法人 中川会施設		
協力団体	社会福祉法人中川会		
参加人数	会員 13 名 市民 名 その他	会員参加率 65 %	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障害者施設、高齢者施設を運営されている社会福祉法人中川会様の施設利用者である障害者、高齢者といった要支援者と周辺地域住民、奈良市民の交流の目的と要支援者の方が祭り、ゲーム、演奏鑑賞といったイベントを体験してもらうことを目的とした会に当クラブとして協賛、協力、参加することによる奉仕活動です。		
事業結果	奈良新聞にも取り上げていただき、会自体も和気あいあいと言った雰囲気になりました。当クラブとしてもロータリー活動が十分に行きとどかない社会資本の手助けとなることを目的としていることを伝え、また奉仕できたといった結果になりました。		
  			
新聞、TV等での報道	株式会社 奈良新聞社  		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員会 委員長
氏 名	野 末 勝 宏	
担 当 委 員 会 名	社会奉仕委員会	

事業名	こども食堂 春の遠足				
	2026年3月20日(金・祝)	1継続事業の場合	年		
実施場所	農業公園 信貴山のどか村				
協力団体	新大宮cojica食堂、ならじょおひさま食堂、大宮子ども料理教室				
参加人数	会員	29	名	→ 会員参加率	43.3 %
	市民	75	名		
	その他 奈良女子大学附属中等教育学校IACインターアクター9名、同顧問教師1名				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	当クラブの活動地域内にあるこども食堂、同食堂に通っている／通いたいと思っている小学生及びこども食堂関係者を対象に、こども食堂につながる小学生を一人でも増やすことを目的として、当クラブの活動地域内で特色ある活動をしている3か所のこども食堂の協力を得て、小学生(定員:60名)及び同こども食堂関係者(定員:20名)を農業公園信貴山のどか村に招待し、レクリエーション、BBQ及び味覚(いちご)作りを開催するとともに、支援品を贈呈しました。				
事業結果	当クラブの活動地域内にある3か所のこども食堂からの協力を得て、小学生(56名)及び同こども食堂関係者(19名)を農業公園信貴山のどか村に招待し、補助参加してくれた奈良女子大学附属中等教育学校IACのインターアクター1名がリーダー、当クラブ会員1名が付添人となり、こども5～6名+大人4～5名程度の班を作り、班別行動をすることにより、こどもら及びこども食堂関係者の皆様に、レクリエーション、BBQ及び味覚(いちご)作りを満喫してもらいました。また、各こども食堂の希望に沿った支援品を贈呈しました。 参加したこどもからは、とても楽しかった、新しい友達が増えた、との声をいただき、こども食堂関係者からは、他のこども食堂との繋がりができてよかった、との声をいただきました。				
新聞、TV等での報道	なし。(参加したこどもらの一部に、強度のプライバシー保護が必要であったため、敢えて報道機関への告知はせずに実施をしました。)				
事業予算	885,432	円			
事業執行額	826,152	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		中谷 房代
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	第11回桜井ロータリー杯学童野球大会				
実施日	2026年4月26日から2026年4月29日		継続事業の場合	10	年
実施場所	奈良県桜井市大字三輪 芝運動公園				
協力団体	奈良県学童野球連盟桜井支部・磯城支部・宇陀支部				
参加人数	会員	5	名	→ 会員参加率	50 %
	市民	120	名		
	その他	80			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	地域の子どもたちの日々の鍛錬を大会という形で発揮できる場の提供を10年以上減り続けてまいりました。年々学童野球の人口が減り桜井市のみの大会だったものを宇陀市、磯城郡へと広げ、学童野球連盟との連携も取りながら、野球等ツールで心身の成長や、家族や友達、地域の方々との関わりの醸成を目指しております。				
事業結果	桜井市、宇陀市、磯城郡から合わせて 13チームが参加してくださり、お天気に恵まれた3日間、熱戦を繰り広げてくださいました。けが等もなく、無事に決勝戦を迎え、今年は昨年の優勝したチームを撃破した田原本リトルヤンキースが優勝となりました。子どもたちは悔しさも学び、また仲間や、対戦相手、周囲の方々に感謝する機会となりました。また我々ロータリアンも地域の皆様と活動できる良い機会となりました。今後も、関係各位と協力のものと継続したいと思っております。				
新聞、TV等での報道	奈良新聞に掲載されました。				
					
事業予算	250,000	円			
事業執行額	229,322	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		駒井 壽美
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	地域の子供たちと楽しく農業を知ろう				
実施日	2025年10月26日	1 継続事業の場合	2 年		
実施場所	信貴山 のどか村				
協力団体	斑鳩町福祉協議会				
参加人数	会員	18 名	→ 会員参加率	45 %	
	市民	32 名			
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	親と生活ができない子供たちに、なかなか体験することができない農業体験をすることによって、農業の大切さを通して食育をしたい ・「一年を通して自然と食を体験できる農業公園」へ地域で見守りをしている子供たちを招待。 ・地域の子供たちに農法見学・農業体験・加工・調理品等を体験してもらう。 ・未来のリーダー育成に欠かせない食への幅広い知識習得を行います。				
事業結果	たくさんの小学生から高校生の子供たちに参加していただいた。参加した子供たちは、熱心に、農業についてのお話に耳を傾け、こんにやくつくりやサツマイモ堀りを、みんなで助け合いながら頑張っている姿があって、楽しく、学べたのではないかと思います。後日、子供たちから、参加して楽しかったことや学んだことを、お手紙にして送ってくれた。   				
事業予算	391,505	円			
事業執行額	391,505	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		吉江 貫
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	交通安全啓発プロジェクト		
実施日	2025年8月21日～11月26日	継続事業の場合	年
実施場所	桜井市内5幼稚園		
協力団体	桜井警察、桜井市役所、桜井交通安全母の会		
参加人数	会員 18 名	会員参加率 78 %	
	市民 500 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

市内5園で幼稚園児を対象に交通安全教室を実施し、横断歩道の渡り方・信号の見方・道路での注意点を、他団体と協力して実演と練習を交えて分かりやすく指導しました。

また、クラブ名入りも啓発グッズを配布し、継続的な啓発とクラブの認知向上を図りました。

さらに、交通安全週間には主要交差点で通行人や通行車両へ啓発グッズを配布し、交通安全の啓発運動を行いました。



事業結果

9/10（水）桜井南幼稚園、
9/18（水）三輪幼稚園、
10/22（水）織田陣向幼稚園、
11/19（水）安倍幼稚園
11/26（水）桜井西幼稚園
にて交通安全教室を実施しました。

交通安全週間には、主要交差点で通行人や通行車両へ啓発グッズを配布し、交通安全の普及活動を行いました。



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	314,400	円
事業執行額	315,060	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		森近 浩規
担当委員会名		社会奉仕委員会

事業名	①献血活動		
実施日	2025年9月9日（火）・2026年1月20日（火）・4月17日（火）		継続事業の場合 28 年
実施場所	JR王寺駅北側駅前広場及び王寺町役場（やわらぎ会館）		
協力団体	奈良県赤十字血液センター		
参加人数	会員 15 名 市民 名 その他	会員参加率 57.69 %	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	奈良県で1日約130人の患者さんが輸血を受けておられ、毎日多くの血液を必要としているそうで、社会貢献の一助となる献血に参加していただく為に、地域の皆さまへ呼び掛けと粗品提供を行い、少しでも多くの方にご協力をいただく活動を行いました。		
事業結果	今年度も全3回実施しました。会員各事業所等にポスターを掲示し、会員自らも献血協力に加えて、 現地では地域の方にお声掛けを行いまして、多くの方から献血のご協力をいただきました。 ご協力いただきました皆さまに、感謝を申し上げます。ありがとうございます。 結果としては、以下の通りとなりました。 2025年9月9日（火）…受付：44名/200ml：7名/400ml：33名 2026年1月20日（火）…受付：39名/200ml：0名/400ml：39名 2026年4月17日（火）…受付：49名/200ml：0名/400ml：45名		
新聞、TV等での報道			
事業予算	64,160	円	
事業執行額	64,160	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	社会奉仕委員長
氏 名		森近 清規
担 当 委 員 会 名		社会奉仕委員会

事業名	愛引退補助犬支援募金活動		
実施日	2026年5月30日（土）	継続事業の場合	7 年
実施場所	JR王寺駅中央改札口南側歩道橋		
協力団体	奈良県葛城市NPO法人「日本サービスドッグ協会」		
参加人数	会員 26 名	会員参加率	100.00 %
	市民 名		
	その他 日本サービスドッグ協会9名、米山奨学生1名、事務局2名、会員家族2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

役目を終えて引退した補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の老後のケア及び、補助犬を利用した障害者の精神的ケアを視野に入れた活動や、身体に障害を持つ多くの人々が、安心して、いつでも、どこでも補助犬を利用出来る為に、広く社会に理解される環境が整備されることを目的とされている、日本サービスドッグ協会さまと共に、補助犬のサポートや充実した支援となり、地域社会へ認識を広める活動の一助として、募金活動を行いました。

事業結果

駅歩道橋にて募金活動を行い、老若男女問わず多くの方から募金のご支援をいただきました。皆さまからのお心遣いに感謝すると同時に、人と犬との信頼関係や心温まる光景を目の当たりにして、非常に有意義な活動となりました。
募金は15万円集り日本サービスドッグ協会に支援金をお届けいたしました。



事業予算	0	円
事業執行額	0	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☒ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 社会奉仕委員長
氏 名 西田陽昭
担 当 委 員 会 名 社会奉仕委員会

事業名	「高田を再び元気に」プロジェクト		
実施日	2026年1月13日～2026年4月10日	継続事業の場合	年
実施場所	例会場並びに大和高田市高田川畔（大中公園）		
協力団体	大和高田ロータリークラブ、大和高田市		
参加人数	会員 66 名	会員参加率	76.7 %
	市民 0 名		
	その他 77名2名、市役所職員6名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	高田川畔の桜は大和高田市民の大きな財産であり誇りの一つです。昭和23年に市制を記念して各町内会が約千本の苗木を寄贈し、植樹は市民の手によるものでした。この桜の成長に合わせるように大和高田市の商工業も大きく発展し奈良県中南和の中心となりました。しかし今、桜の高齢化と共に害虫による被害で樹勢が衰えていて、同じように大和高田市の元氣も少し失われつつあります。今回「高田を再び元気に」との思いを込めて70数年前と同じく今後の大和高田市を照らし見守ってくれる桜を植樹しました。桜の成長とともに大和高田市の元氣になる姿を重ね合わせていきます。		
事業結果	植樹にさきがけ、RC会員の高田川の桜に対する認識を共有化するために、例会にて大和高田市長への桜の贈呈式と共に桜に関する卓話を大和高田市職員に行っていただきました。 植樹は自クラブの65周年を記念して65本を予定していましたが、進めていくにあたり苗木の生育を慎重に見守っていき今年度は25本を植樹しました。残り40本は今後2年間で植樹する予定です。 今回植樹した桜が育ち開花し樹齢を重ね風格が出て、その役割を終えるまで70～80年だと思われます。その間、市民や行政の頑張りにより大和高田市の元氣を取り戻す姿を見守ってくれるとともに、開花の時期には大和高田市民並びに近隣地域の人々の楽しみと癒しになります。		
			
新聞、TV等での報道	奈良新聞（令和8年2月27日）、中和新聞（地域紙 令和8年3月4日）		
事業予算	1,651,540	円	
事業執行額	1,828,244	円	
この事業の主な財源 （複数回答可）	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

国際コンタクト第2050地区
2025-26年度社会奉仕委員会

顧問委員、パトロン	佐竹 力規	(京都 RC)
委員長	宮倉 靖幸	(五條 RC)
副委員長	利木 孝和	(京都洛西 RC)
副委員長	小牧 靖彦	(京丹後 RC)
委員	峰井 弘美	(宮田八幡 RC)
委員	市原 洋晴	(宇治 RC)
委員	木村 元一	(武蔵東 RC)
委員	松村 九貴	(船井フジックス RC)
委員	大島 國裕	(奈良 RC)
委員	幸木 達宏	(船井 RC)
委員	八木 悠祐	(京都北 RC)
委員	山崎 功福	(京都西 RC)